

立川市ヤングケアラー実態調査 報告書

令和7年9月

立川市福祉部地域福祉課

目次

第1章 本調査の概要	3
1. はじめに	4
2. 本調査の概要	4
3. 集計・分析に関する留意点	5
第2章 調査結果	6
1. 回収状況	7
2. 単純集計結果	8
(1) 基本属性	8
① 性別	8
② 学年	8
③ 健康状態	9
(2) 普段の生活について	9
① 学校への通学状況(出欠)	9
② 学校への通学状況(遅刻や早退)	10
③ 部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況	10
④ 普段の生活であてはまること	11
⑤ 現在、悩んだり困っていること	12
(3) 家族や家庭のことについて	14
① お世話をしている家族の有無	14
② お世話をしている家族の続柄	15
③ お世話を必要としている家族の状況	16
④ 行っているお世話の内容	17
⑤ 本人以外に家族のお世話をしている人の有無	18
⑥ 本人以外にお世話をしている人の属性	19
⑦ お世話を始めた年齢	20
⑧ お世話をしている頻度	20
⑨ 一日あたりお世話に費やす時間(平日)	21
⑩ 一日あたりお世話に費やす時間(平日以外)	22
⑪ お世話をしているためにできないこと	23
⑫ お世話をすることで感じている大変さ	24
⑬ お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無	25
⑭ お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手	26
⑮ 相談していない理由	27
⑯ 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はあるか	28

⑬話や相談をしたい方法	29
(4) ヤングケアラーについて	29
①ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況	29
②ヤングケアラーの自己認識	30
3. クロス集計結果	31
(1) 家族のお世話の有無による差	31
①家族のお世話の有無×健康状態	31
②家族のお世話の有無×学校への通学状況(出欠)	31
③家族のお世話の有無×学校への通学状況(遅刻や早退)	32
④家族のお世話の有無×部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況 ...	32
⑤家族のお世話の有無×普段の生活であてはまること	33
⑥家族のお世話の有無×現在、悩んだり、困っていること	34
⑦家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援	35
⑧家族のお世話の有無×相談方法	36
⑨家族のお世話の有無×ヤングケアラーの認知度	36
⑩家族のお世話の有無×ヤングケアラーの自己認識	37
4. 自由記述	38
(1) カテゴリー分類について	38
(2) 自由記述意見のカテゴリー別回答内容	40
第3章 分析	46
1. 実態把握分析	47
2. 自己認識と認知度分析	47
3. お世話の影響分析	48
4. 支援ニーズ分析	48
第4章 質問項目	49
1. 小学生向け質問項目	50
2. 中学生向け質問項目	58

第 1 章

本調査の概要

1. はじめに

このアンケートは、立川市内の市立小学校5年生から6年生までの全児童および市立中学校全生徒を対象に実施し、学校や家庭生活の中で抱える悩みや困りごとなどを調査するとともに、家族のお世話を担っている児童・生徒の状況を把握し、その結果をヤングケアラーに必要な支援策を検討する上での参考とすることを目的としています。また、本アンケートは毎年実施し、経年変化をみていくことで施策の有効性などを分析していくこととします。

2. 本調査の概要

ヤングケアラー実態や支援の状況を把握するために、以下の対象に実態調査を行った。

目的	ヤングケアラーと思われる子どもの家族へのお世話の状況と学校や家庭生活の中で抱える悩みや困りごとなどを把握することで、その解決に必要な支援策を検討するため、本アンケート調査を実施した。
対象者	児童・生徒調査(小学生・中学生) 市立小中学生の小学5年生から中学3年生までのすべての児童・生徒
調査方法	各学校を通じて保護者及び児童・生徒向けに調査回答フォームのQRコードを記載した調査依頼文を配布し、児童・生徒本人が学校配布のタブレットからインターネットフォームにアクセスし回答。
調査項目	市内のヤングケアラーの状況と課題を把握するために、本市で検討を行い、設問を設定した。
調査期間	令和7年3月3日(月)から3月21日(金)まで

3. 集計・分析に関する留意点

- 回答結果の割合(%)は有効サンプル数に対し各回答数の割合を小数点第2位で四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ)であっても合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答(2つ以上選択肢を選択できる質問)の場合、回答は選択肢ごとに有効回答数に対してそれぞれ割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- 図表内の「n=」はその設問について集計対象件数を示している。
- 集計サンプル数が少ない属性項目については1サンプル当たりの重みが大きく比率が変動しやすいため利用には注意を要する。
- 自由記述による回答の集計・分析にあたっては、個人の特定につながる情報(人名、固有名詞等)をすべて削除したうえで図表の作成及び回答例の掲載を行っている。
- 「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることを示す。
- お世話をしている家族が『いる』と回答した児童・生徒が必ずしもヤングケアラーに該当するとは限らない。

第 2 章

調査結果

1. 回収状況

(1) 全体

児童・生徒調査の回収総数は 4,381 件。

(2) 内訳

調査対象	配布総数	回収総数	回収率
小学生	2,909	1,939	66.7%
中学生	3,795	2,442	64.3%
合計	6,704	4,381	65.3%

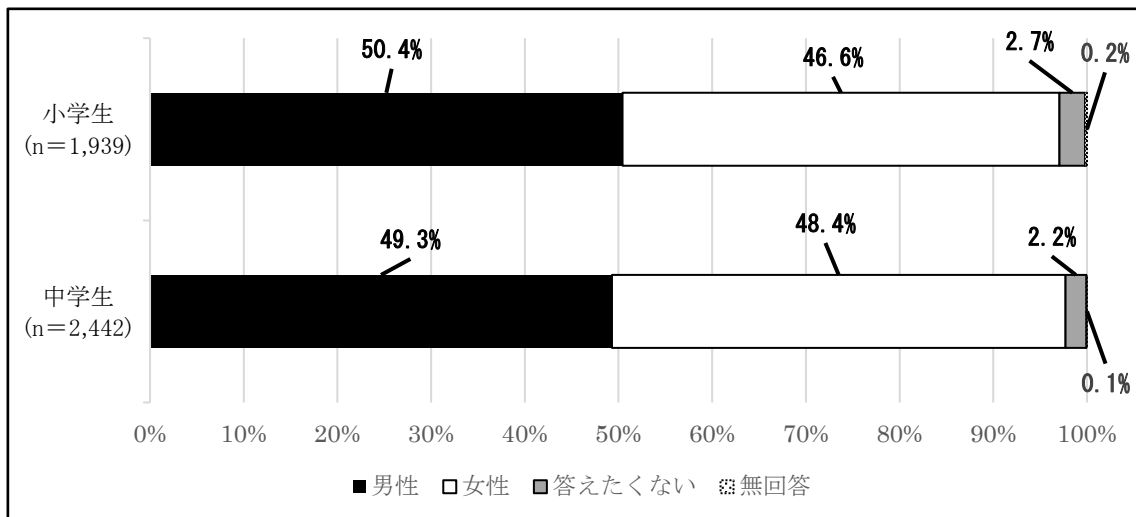
※配布総数：小学生 5.6 年生・中学生 1～3 年生は各学校在籍者数(令和 7 年 2 月 1 日現在)

※回収方法：ウェブ回答

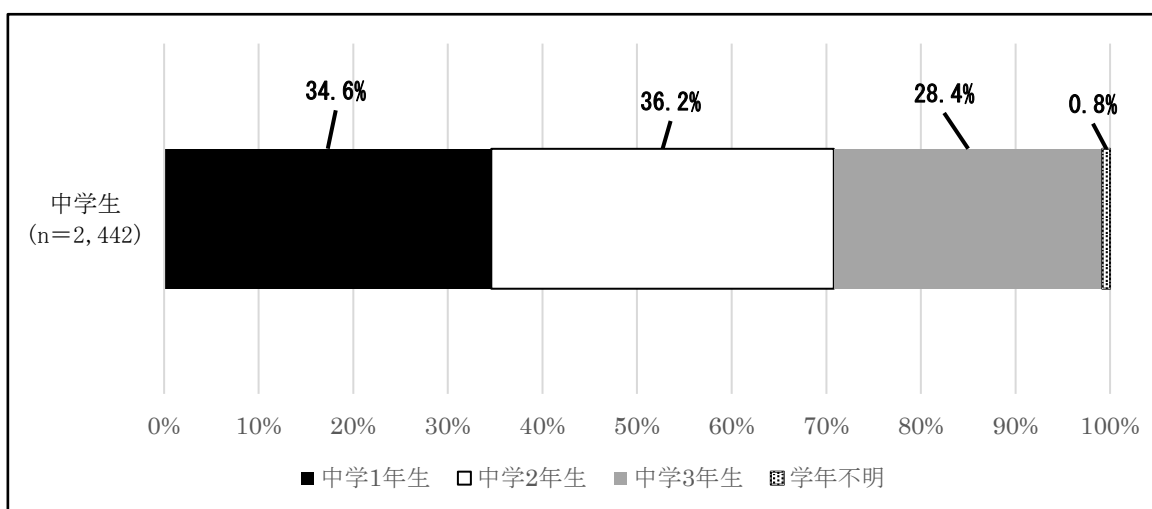
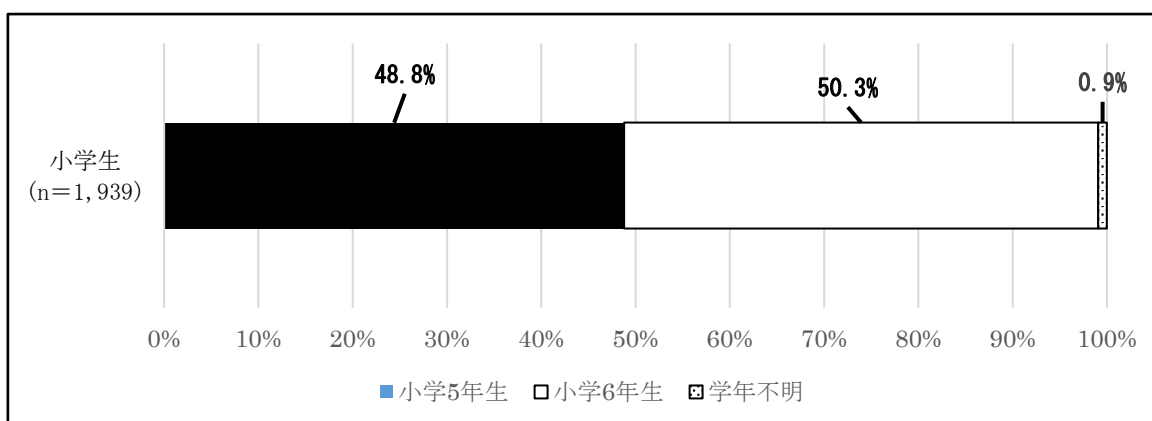
2. 単純集計結果

(1) 基本属性

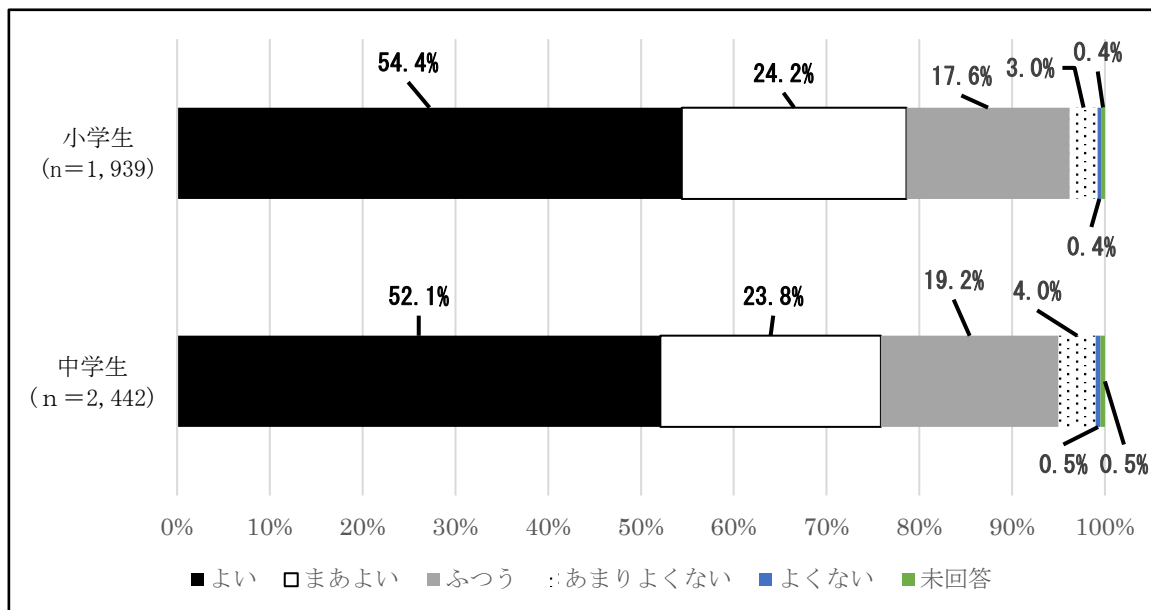
①性別



②学年



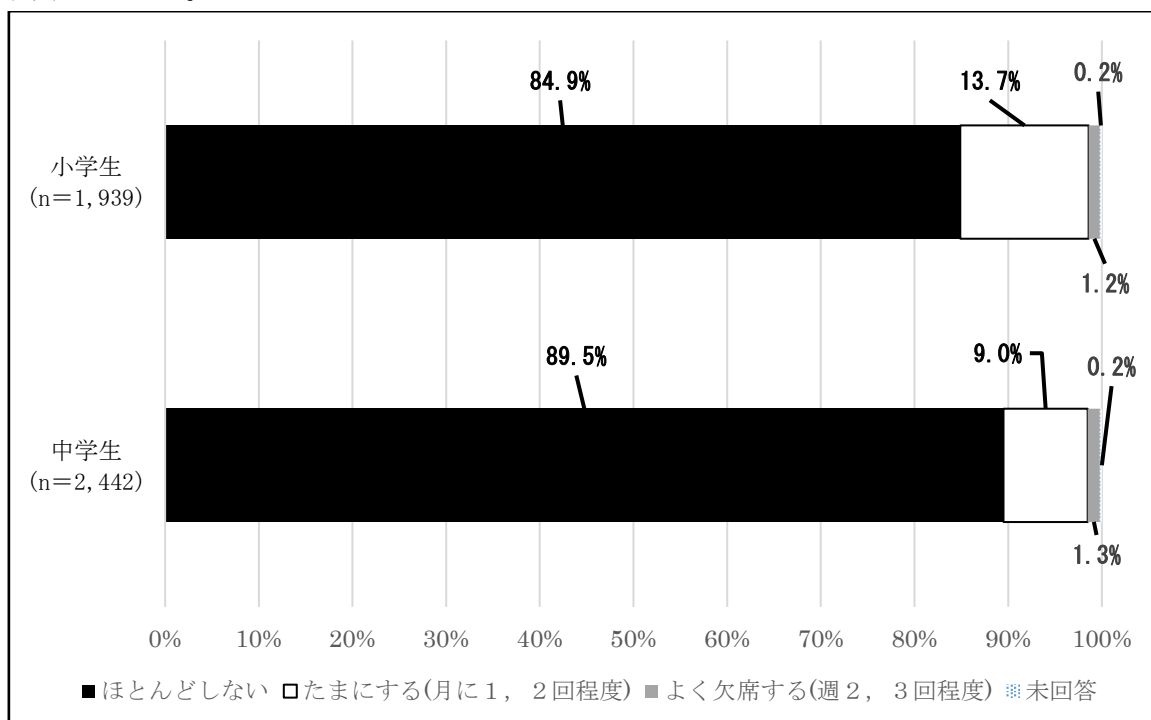
③健康状態



(2) 普段の生活について

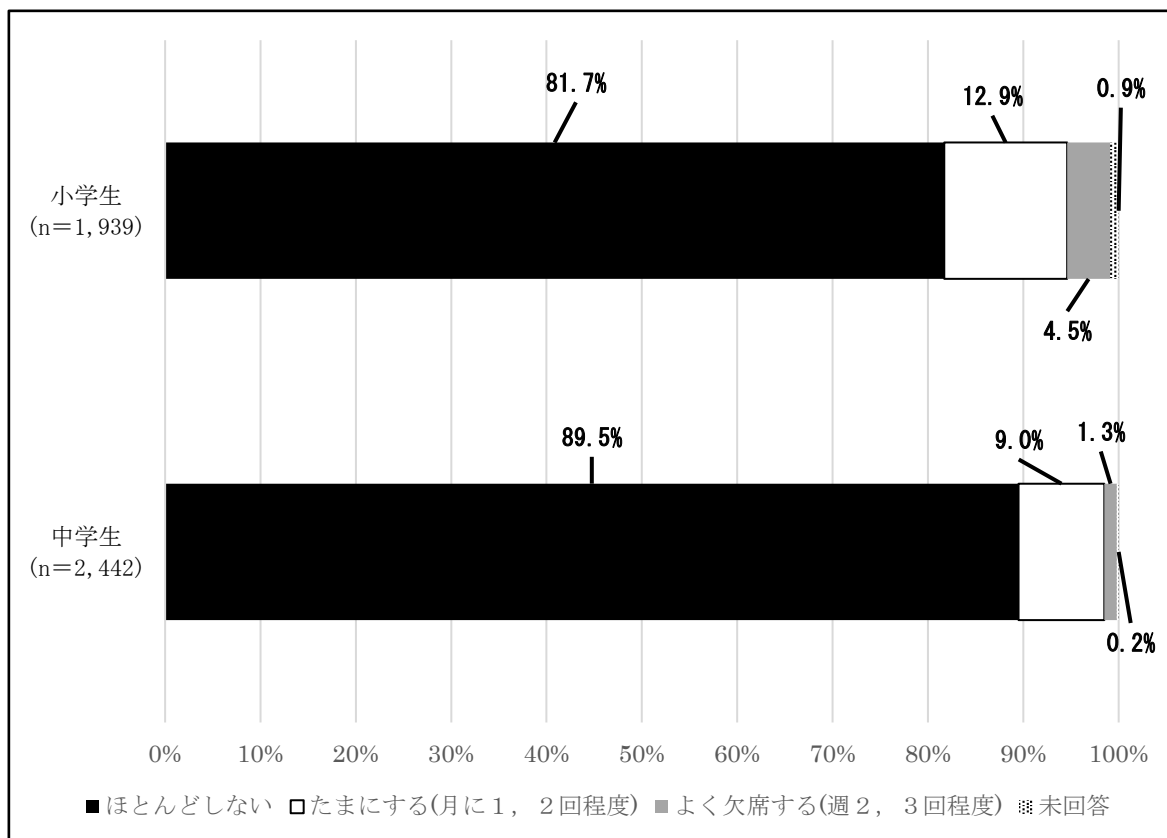
①学校への通学状況(出欠)

学校への通学状況(出欠)については、小学生(84.9%)・中学生(89.5%)と「ほとんどしない」が最も高くなっている。小中学生ともに9割以上の児童・生徒が欠席なく、出席している。



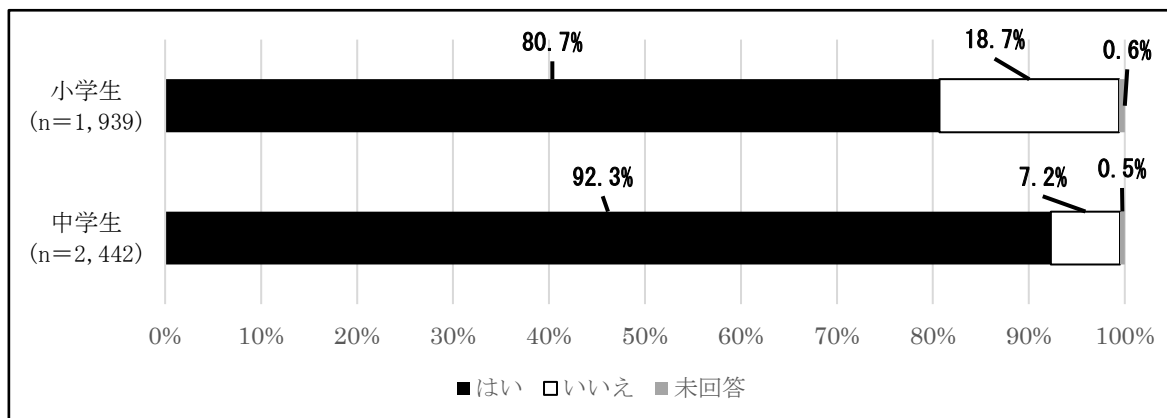
②学校への通学状況(遅刻や早退)

学校への通学状況(遅刻や早退)については、小学生(81.7%)・中学生(89.5%)と「ほとんどしない」が最も高くなっている。小学生の方が「たまに欠席する」「よく欠席する」の割合が高くなっている。



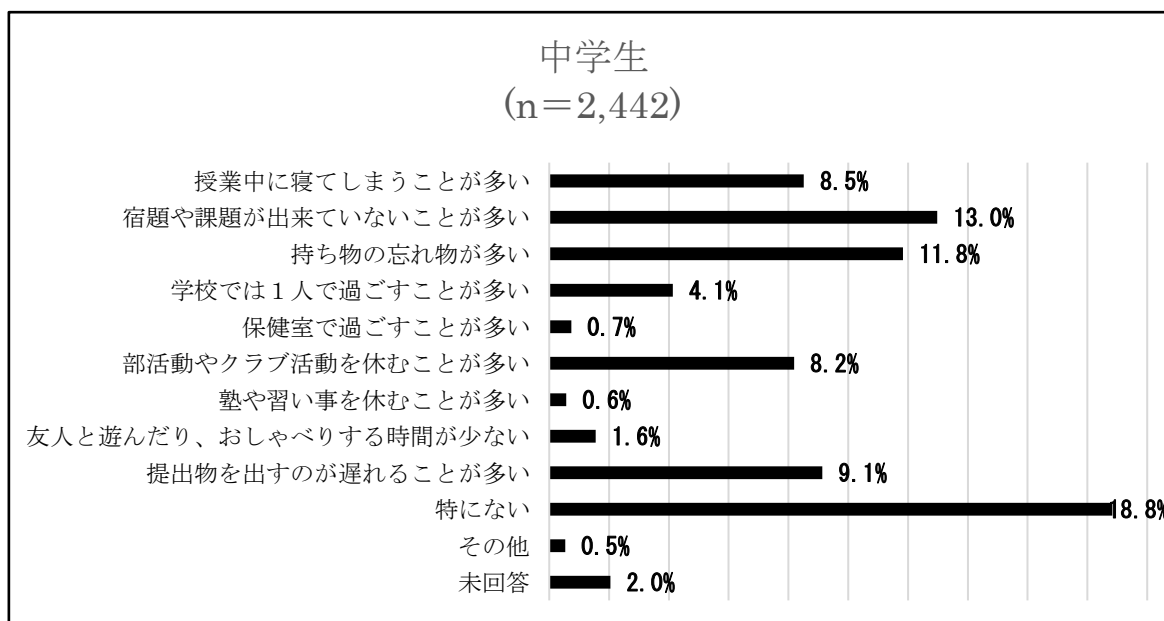
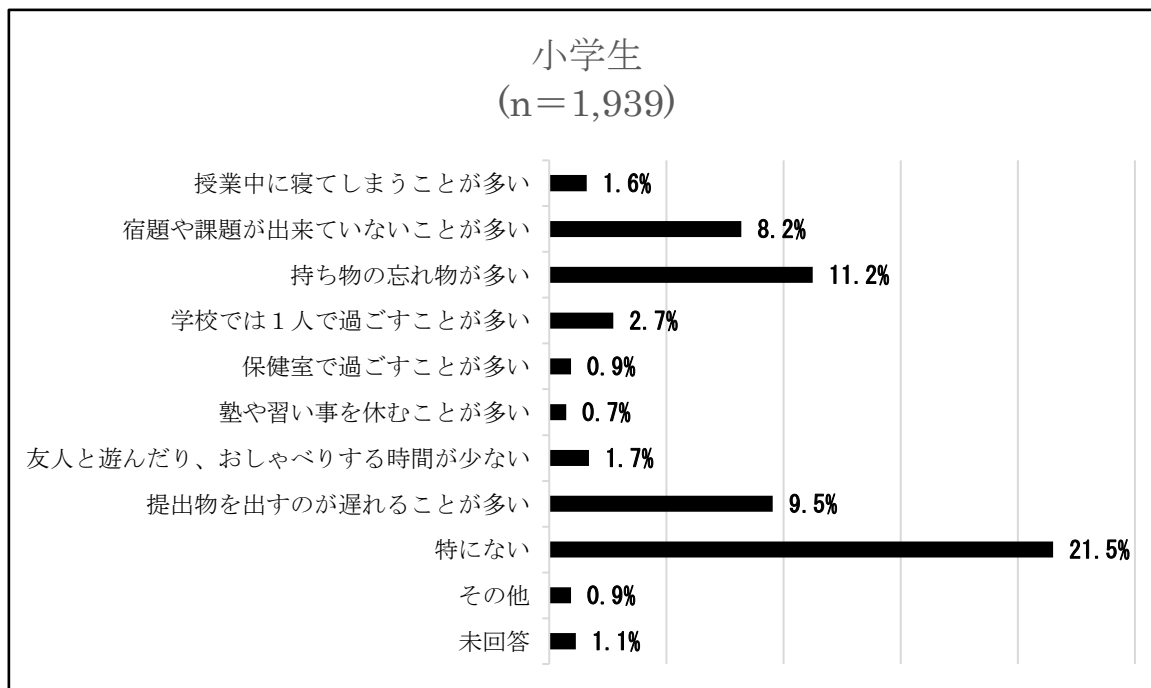
③部活動やクラブ活動、習い事への参加状況

部活動やクラブ活動、習い事への参加状況については、小学生(80.7%)・中学生(92.3%)と「はい」が最も高くなっている。



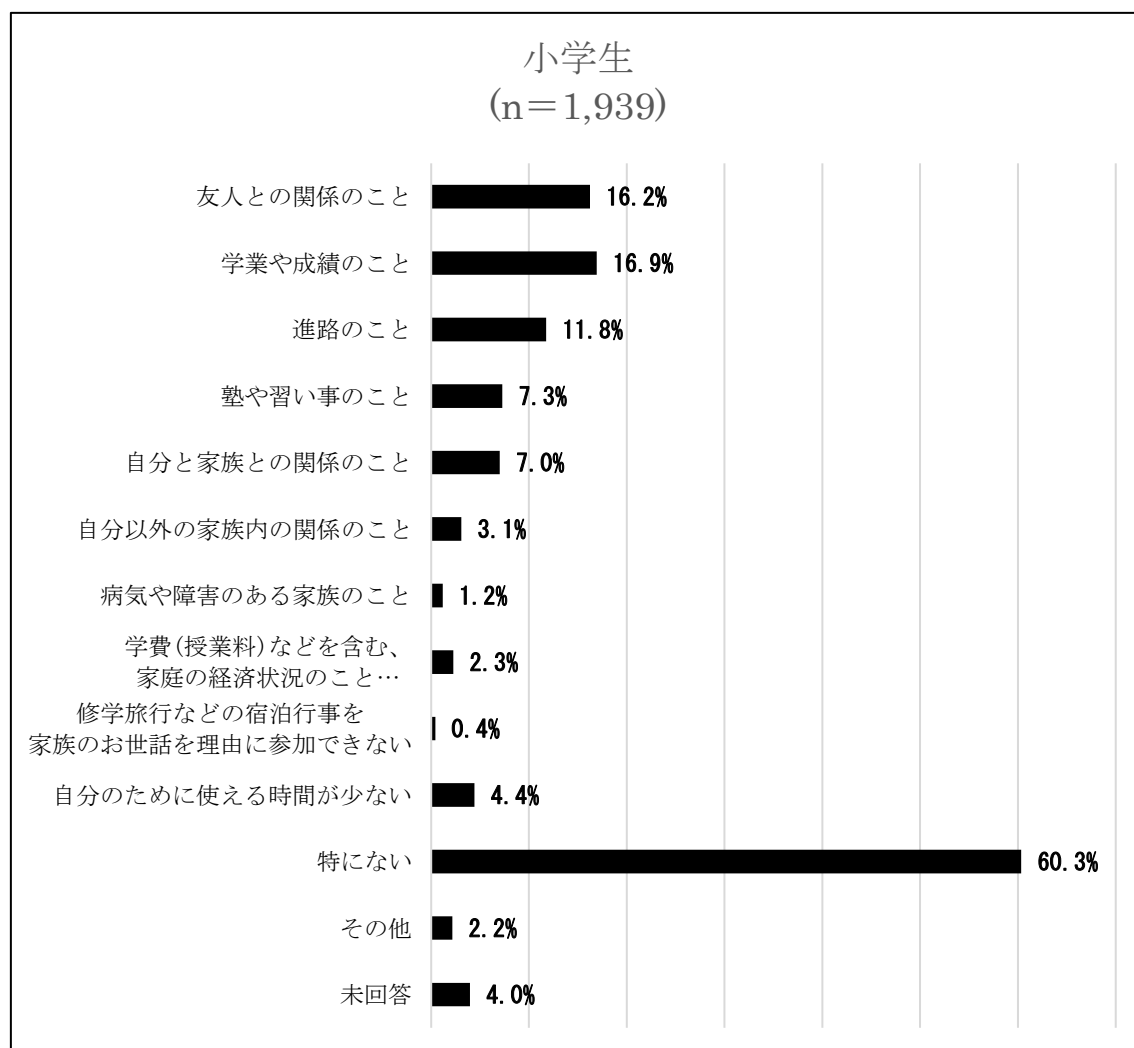
④ 普段の生活であてはまること

普段の学校生活であてはまることを複数回答で聞いたところ、「特にない」が小学生(21.5%)・中学生(18.8%)と最も高くなっている。続いて小学生では、「持ち物の忘れ物が多い」(11.2%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(9.5%)の順番になっている。中学生では、「宿題や課題ができていないことが多い」(13.0%)、「持ち物の忘れ物が多い」(11.8%)の順番になっている。

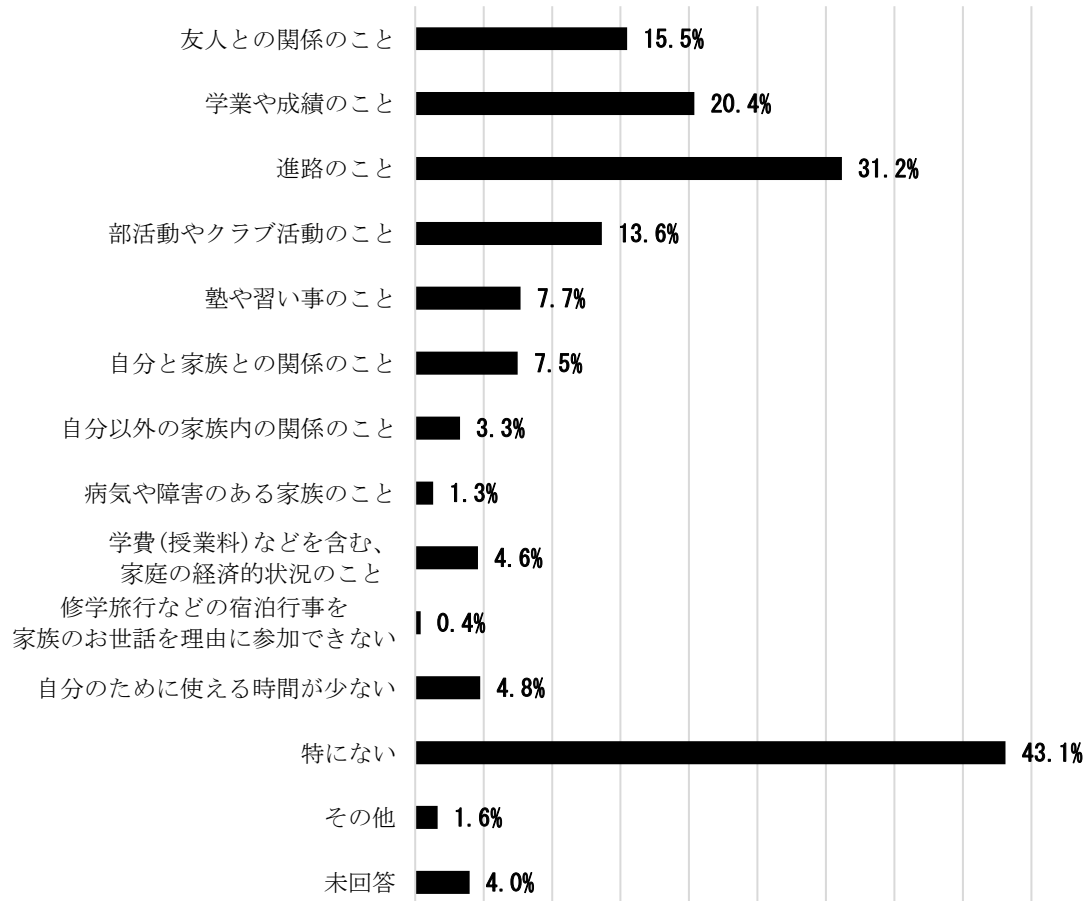


⑤現在、悩んだり困っていること

現在、悩んだり困っていることを複数回答で聞いたところ、小中学生ともに「特にない」が最も高くなっている。次いで小学生では、「学業や成績のこと」(16.9%)「友人との関係のこと」(16.2%)、中学生では、「進路のこと」(31.2%)「学業や成績のこと」(20.4%)になっている。



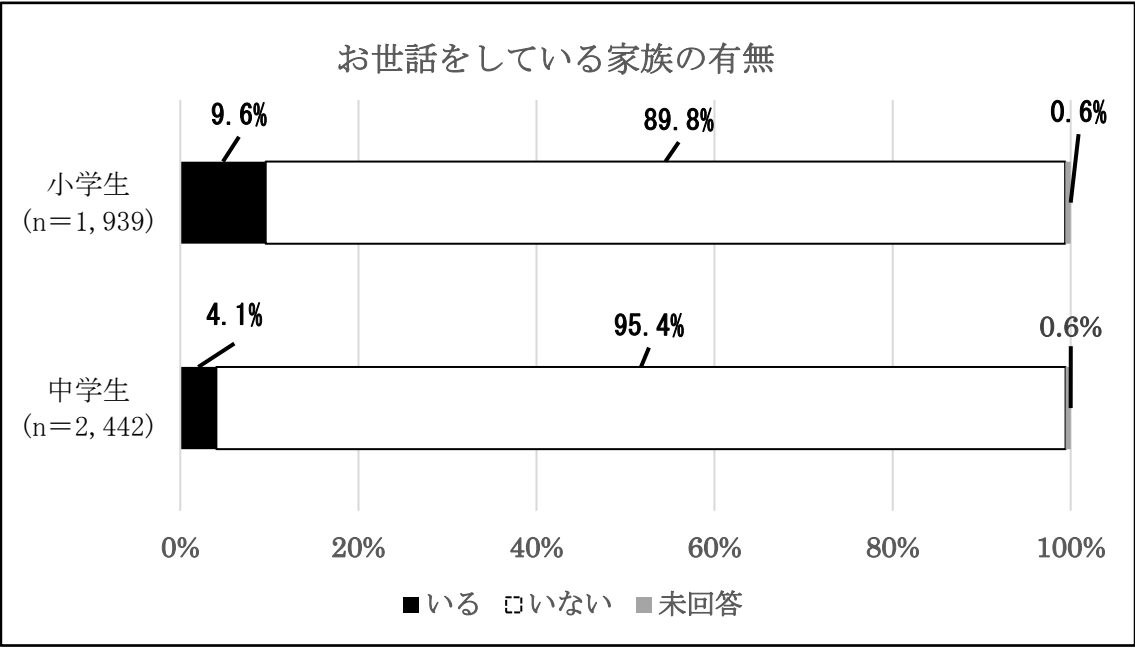
中学生
(n=2,442)



(3) 家族や家庭のことについて

① お世話をしている家族の有無

お世話をしている家族の有無については、「いる」が小学生 9.6%、中学生 4.1%となっている。



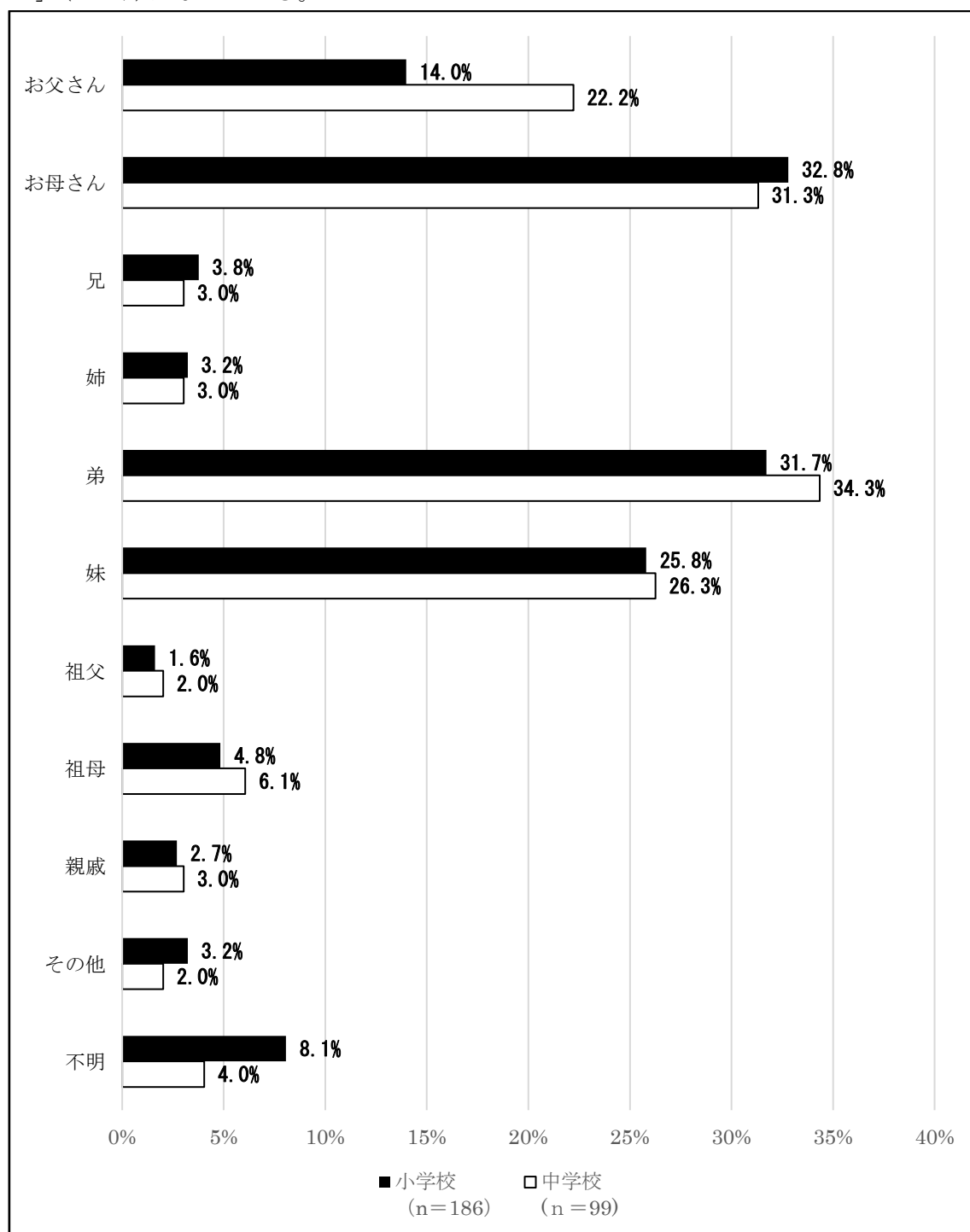
内訳

	いる	いない	未回答
小学生	186 人	1741 人	12 人
中学生	99 人	2329 人	14 人

※以降⑬までは、お世話をしている家族が「いる」場合

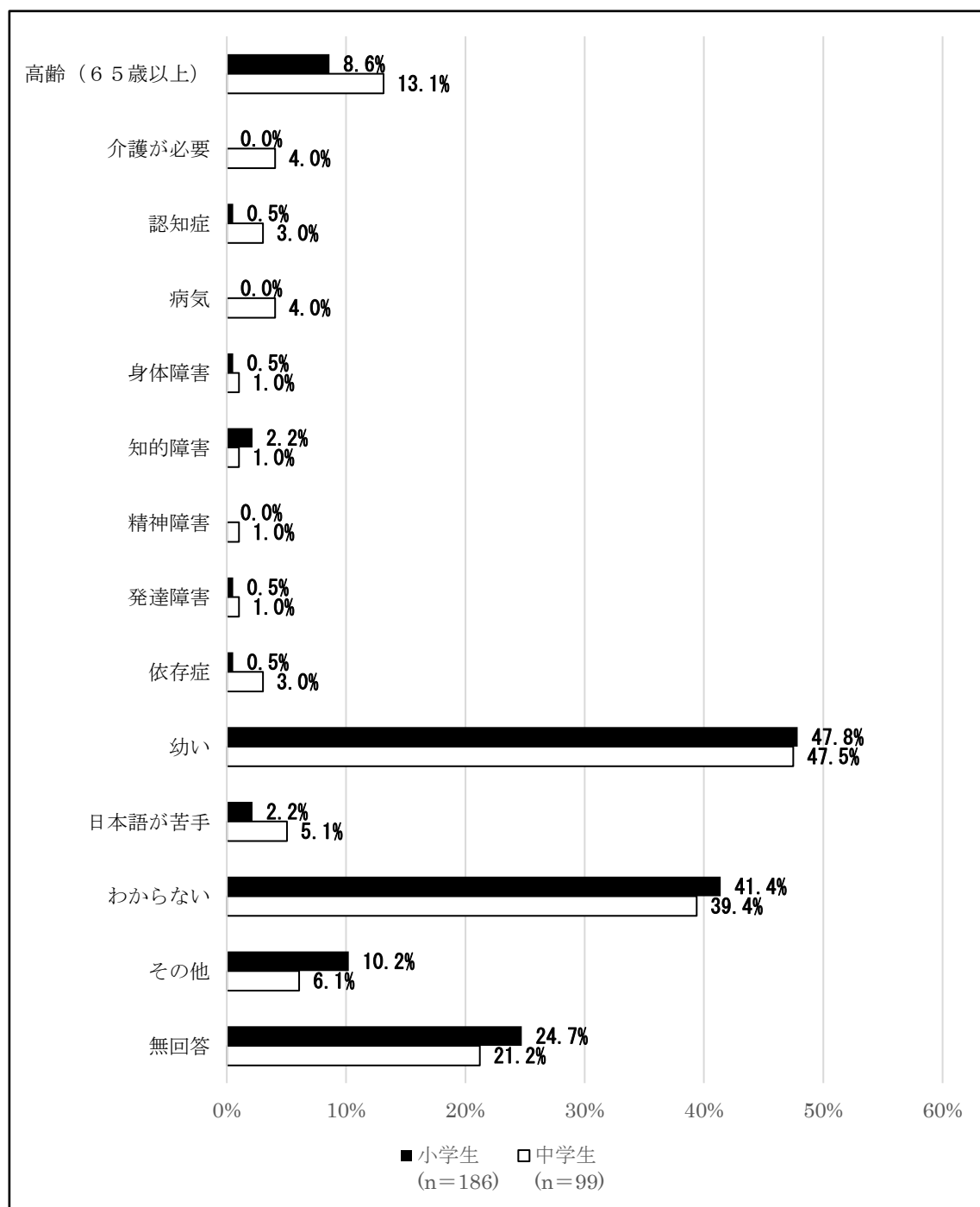
②お世話をしている家族の続柄

お世話をしている家族が「いる」場合のお世話を必要としている家族の続柄については、小学生は、「お母さん」(32.8%)「弟」(31.7%)「妹」(25.8%)「お父さん」(14.0%)。また、中学生は、「弟」(34.3%)「お母さん」(31.3%)「妹」(26.3%)「お父さん」(22.2%)になっている。



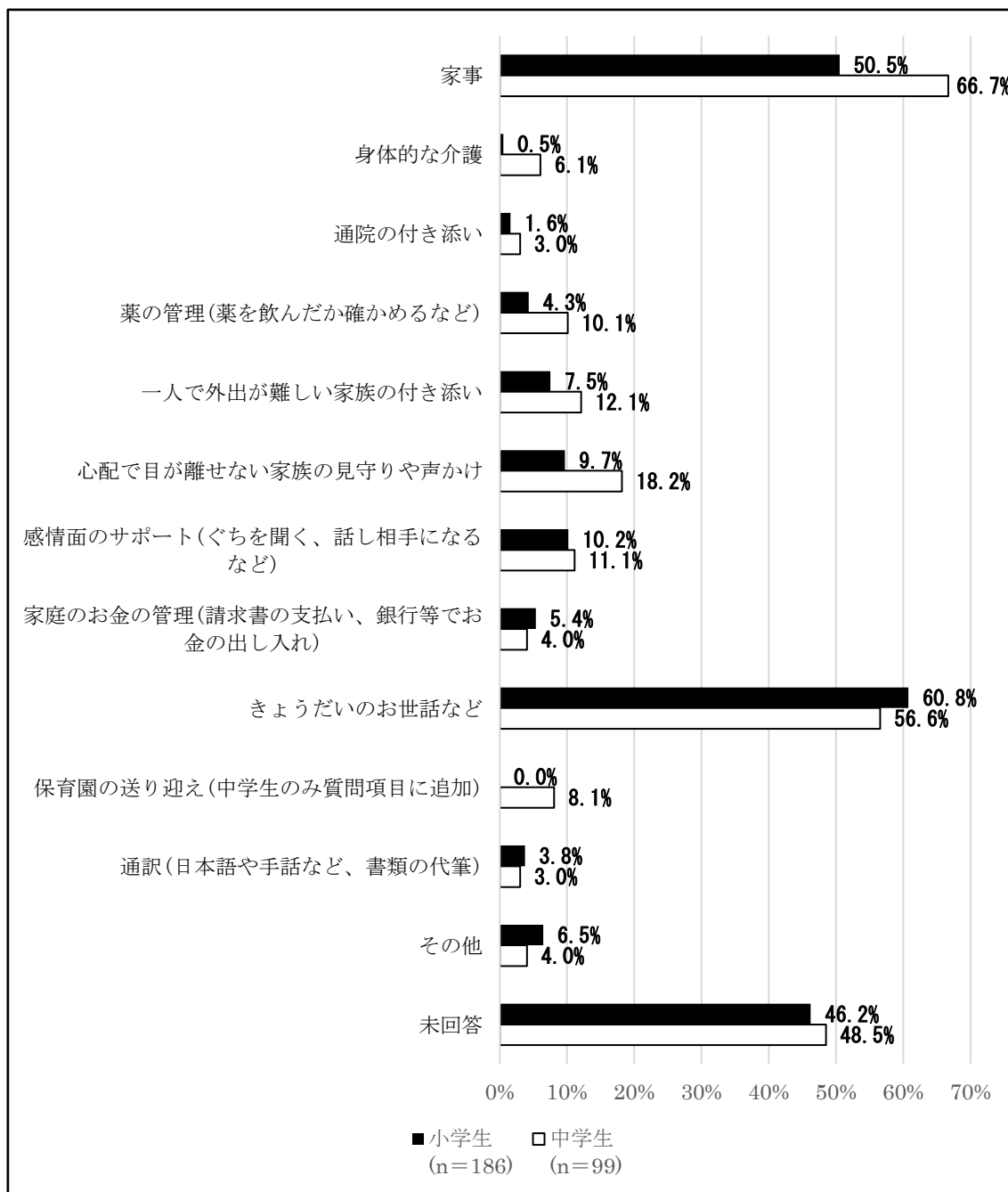
③お世話を必要としている家族の状況

お世話を必要としている家族の状況については、小学生(47.8%)・中学生(47.5%)ともに「若い」が高くなっている。次に、小学生(41.4%)・中学生(39.4%)で「わからない」が多くなっている。



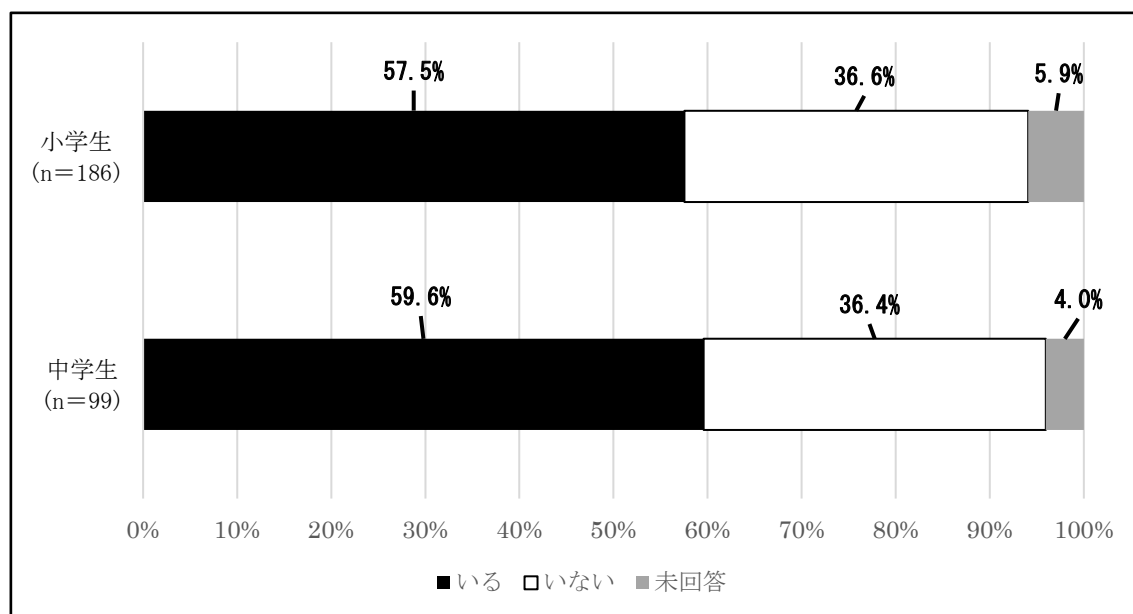
④行っているお世話の内容

お世話を行っているお世話の内容については、小学生は「きょうだいのお世話など」(60.8%)「家事」(50.5%)の順になっている。中学生では「家事」(66.7%)「きょうだいのお世話など」(56.6%)となっている。「身体的な介護」や「通院の付き添い」、「薬の管理」「一人で外出が難しい家族の付き添い」「心配で目が離せない家族の見守りや声かけ」などは、年齢が高い(中学生)の方が高い数値となっている。



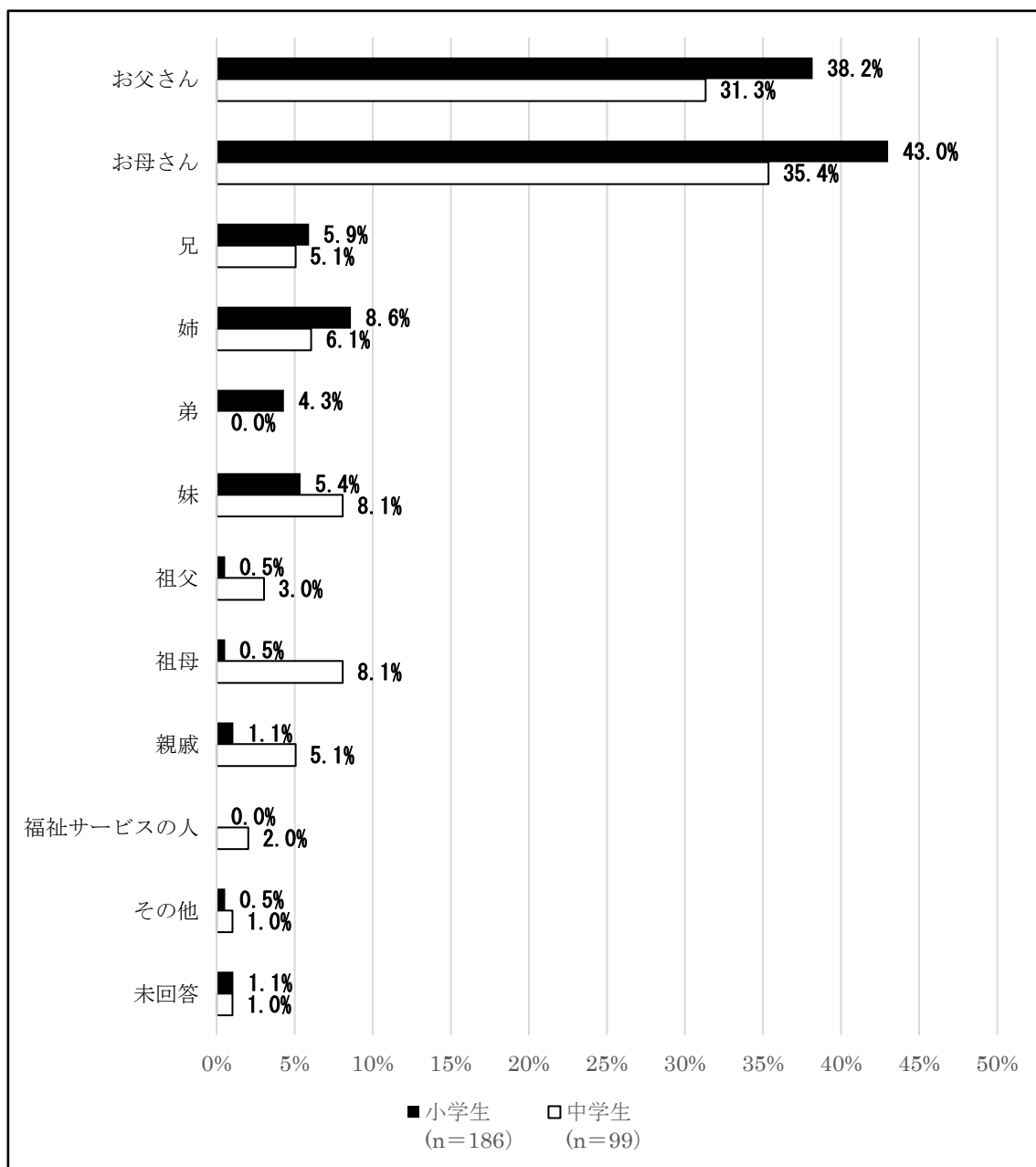
⑤本人以外に家族のお世話をしている人の有無

本人以外に家族のお世話をしている人の有無については、「いる」が小学生（57.5%）中学生（59.6%）となっている。また、「いない」と回答した児童・生徒は、小中学生ともに30%を超え、高い数値となっている。



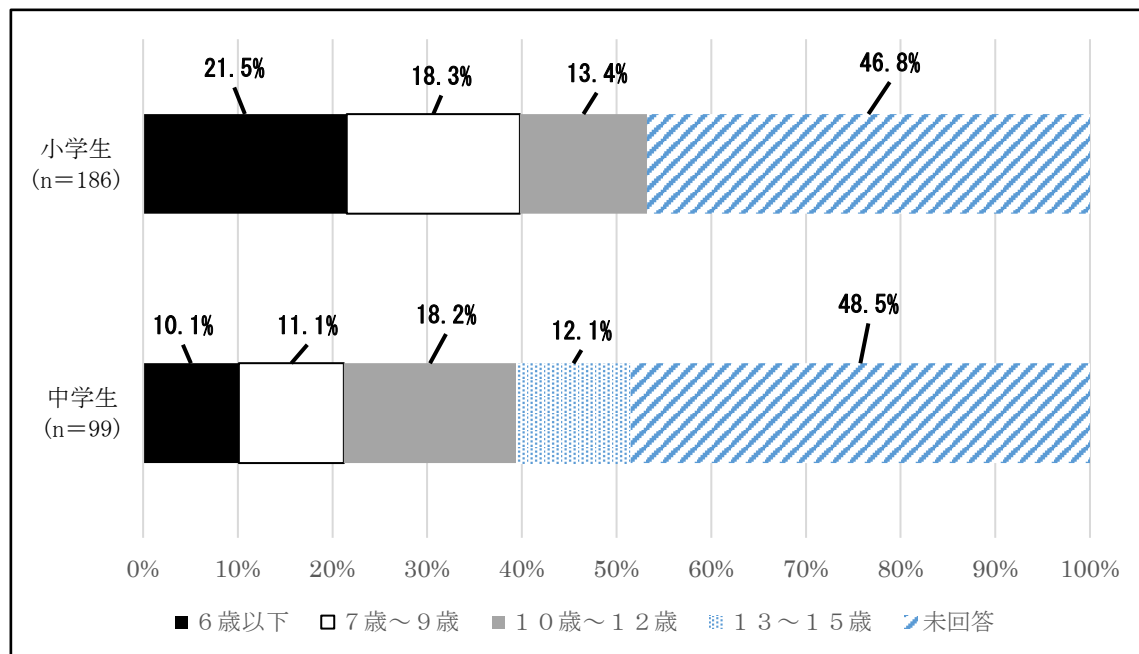
⑥本人以外にお世話をしている人の属性

本人以外に家族のお世話をしている属性については、小中学生ともに「お母さん」「お父さん」が高い数値になっている。



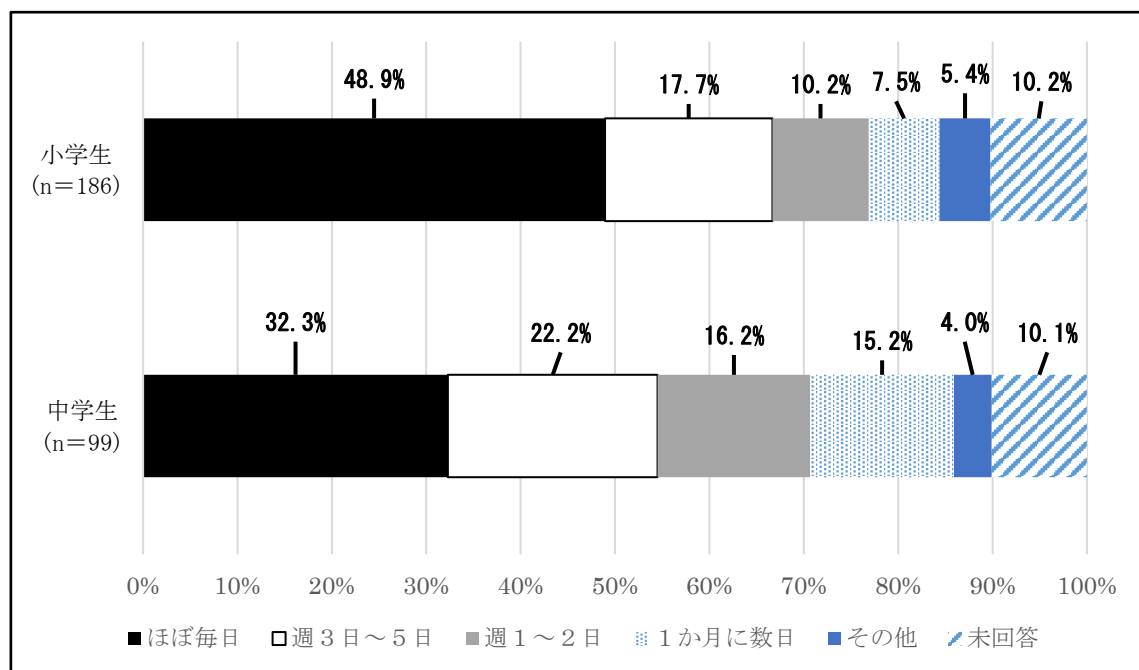
⑦お世話を始めた年齢

お世話を始めた年齢については、小学生では「6歳以下」が最も多く、次に「7歳～9歳」が多くなっている。中学生では、「10歳～12歳」が最も多く次に「13歳～15歳」となっている。



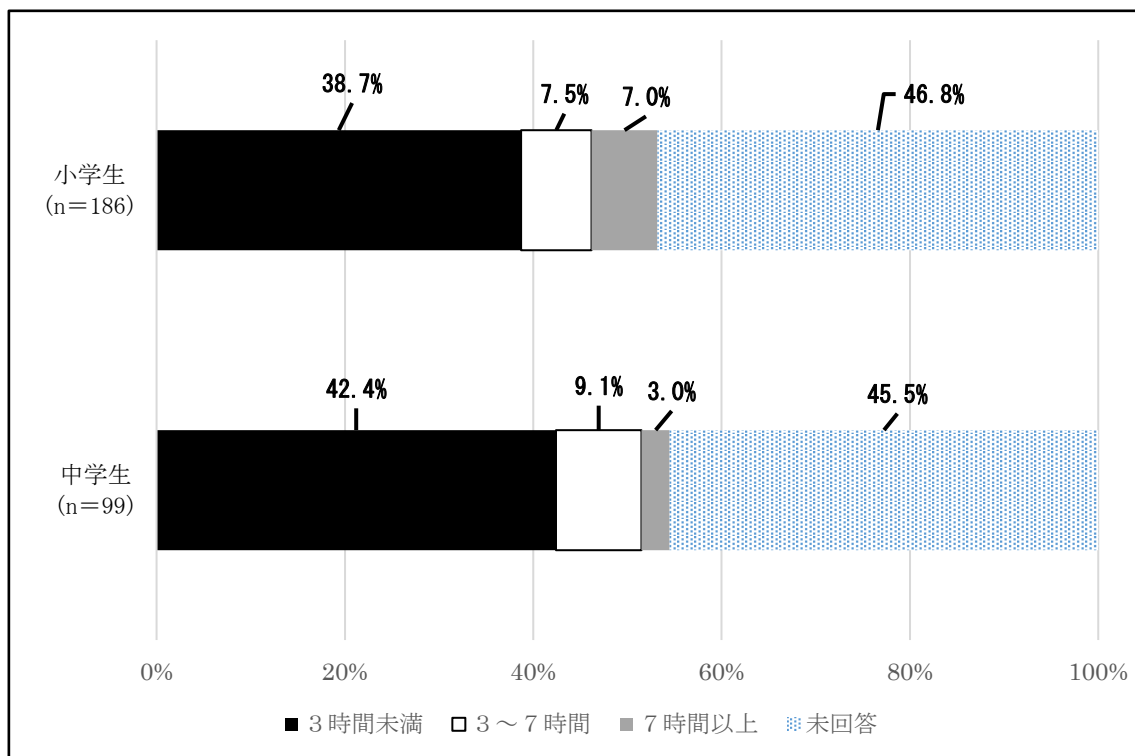
⑧お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が小学生(48.9%)・中学生(32.3%)と最も多く、続いて「週3日～5日」「週1～2日」の順になっている。



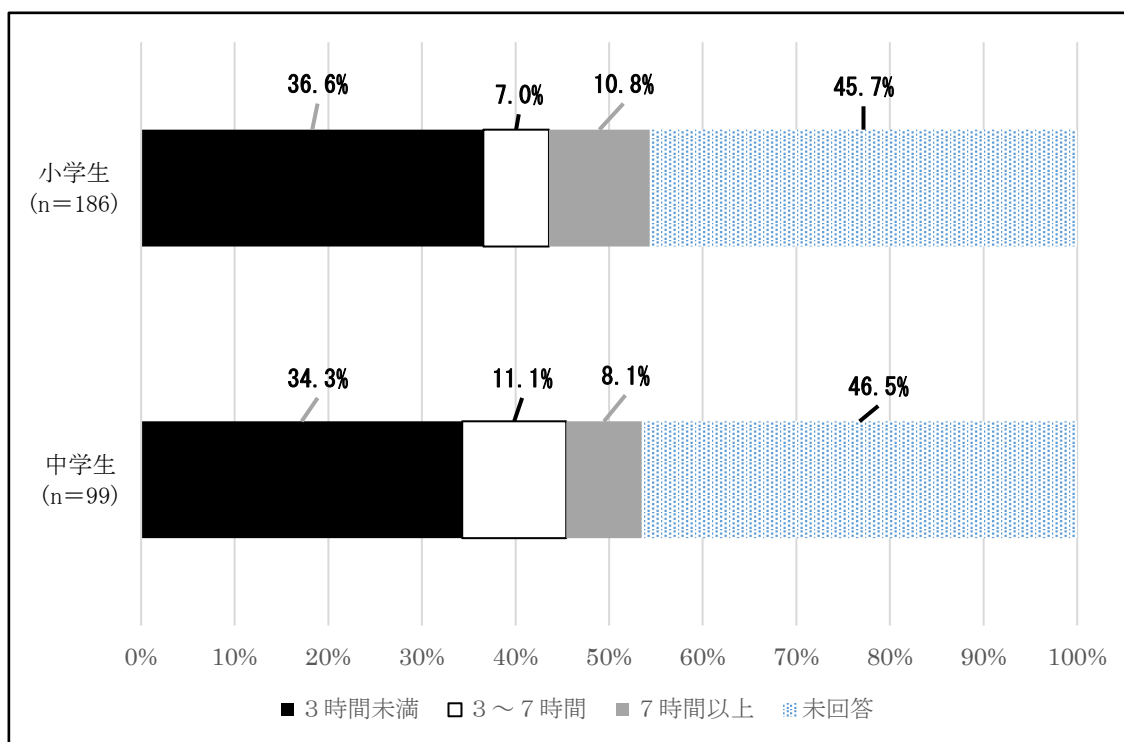
⑨一日あたりお世話に費やす時間(平日)

平日一日あたりお世話に費やす時間については、小学生(38.7%)・中学生(42.4%)ともに「3時間未満」が最も多い。



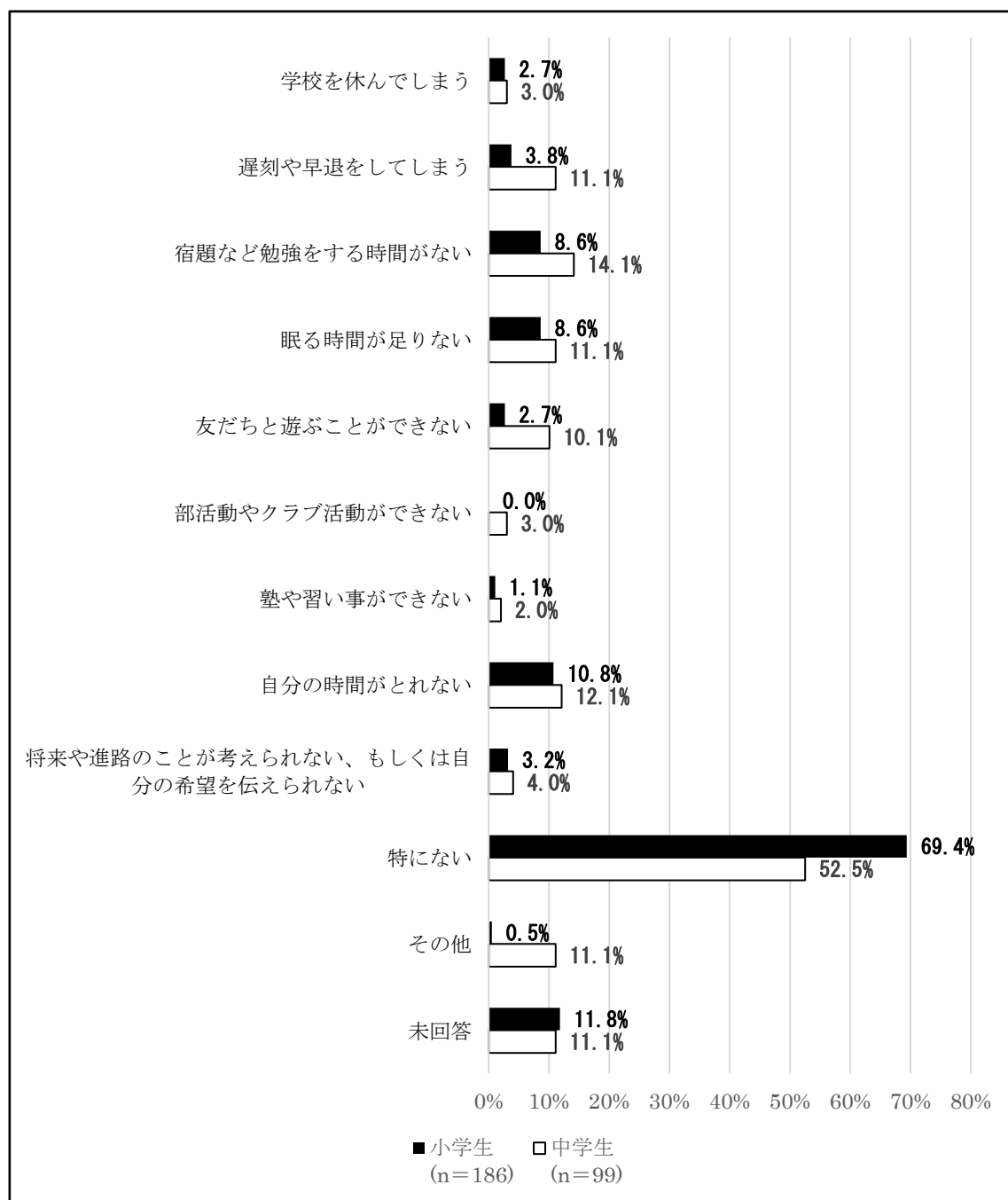
⑩一日当たりお世話に費やす時間(平日以外)

平日以外の日で一日あたりのお世話に費やす時間については、小中学生ともに、平日より長くなる傾向にある。



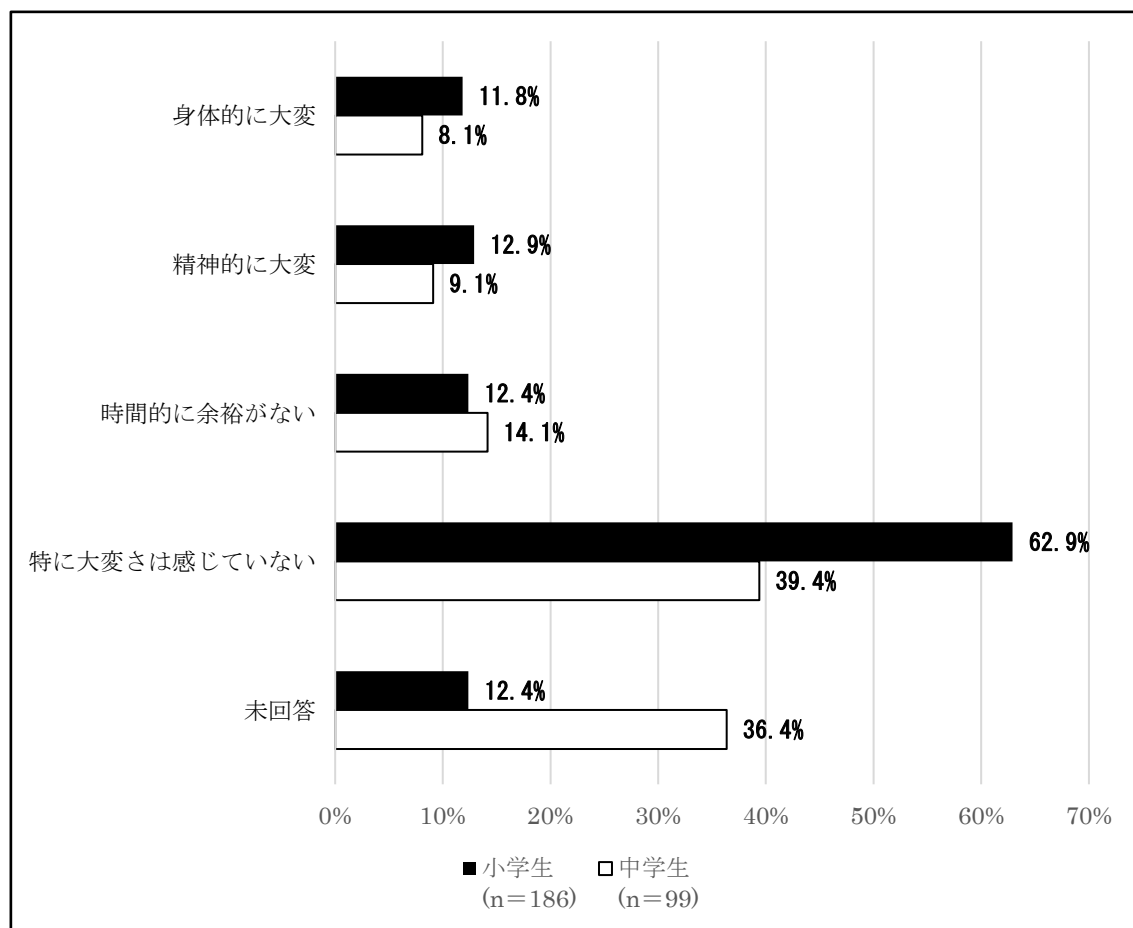
⑪お世話をしているためにできないこと

お世話をしているためにできないことを複数回答で聞いたところ、小中学生ともに「特にない」が最も高い。続いて小学生では「自分の時間がとれない」(10.8%)になっている。中学生では「宿題など勉強をする時間がない」(14.1%)となっている。



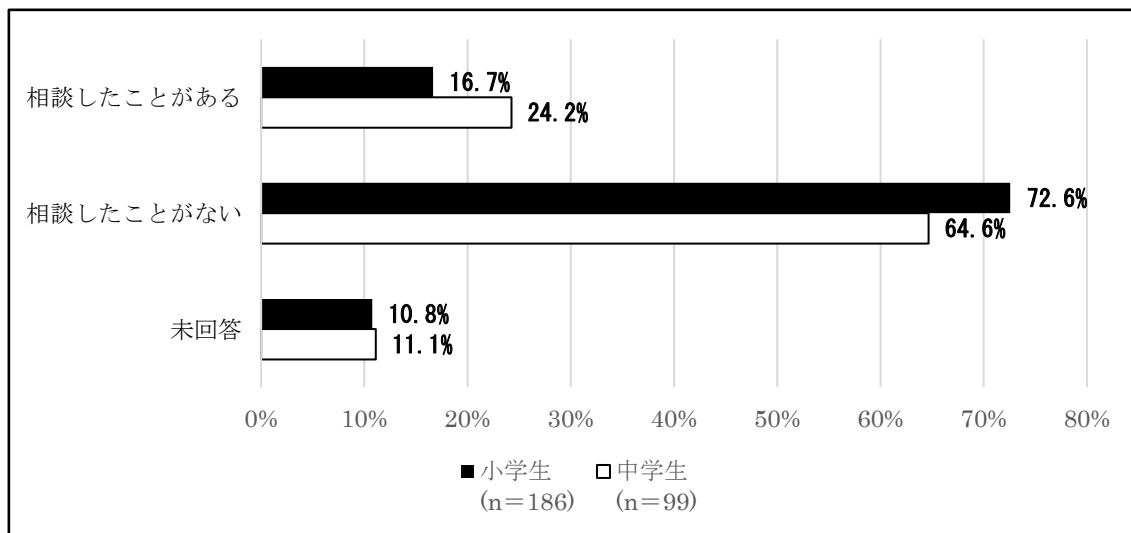
⑫お世話をすることで感じている大変さ

お世話をすることで感じている大変さを複数回答で聞いたところ、小学生(62.9%)・中学生(39.4%)とも「特に大変さは感じていない」が最も高くなっている。続いて小学生では「精神的に大変」(12.9%)「時間的に余裕がない」(12.4%)と続くが、中学生は「時間的に余裕がない」(14.1%)「精神的に大変」(9.1%)の順になっている。



⑬お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無

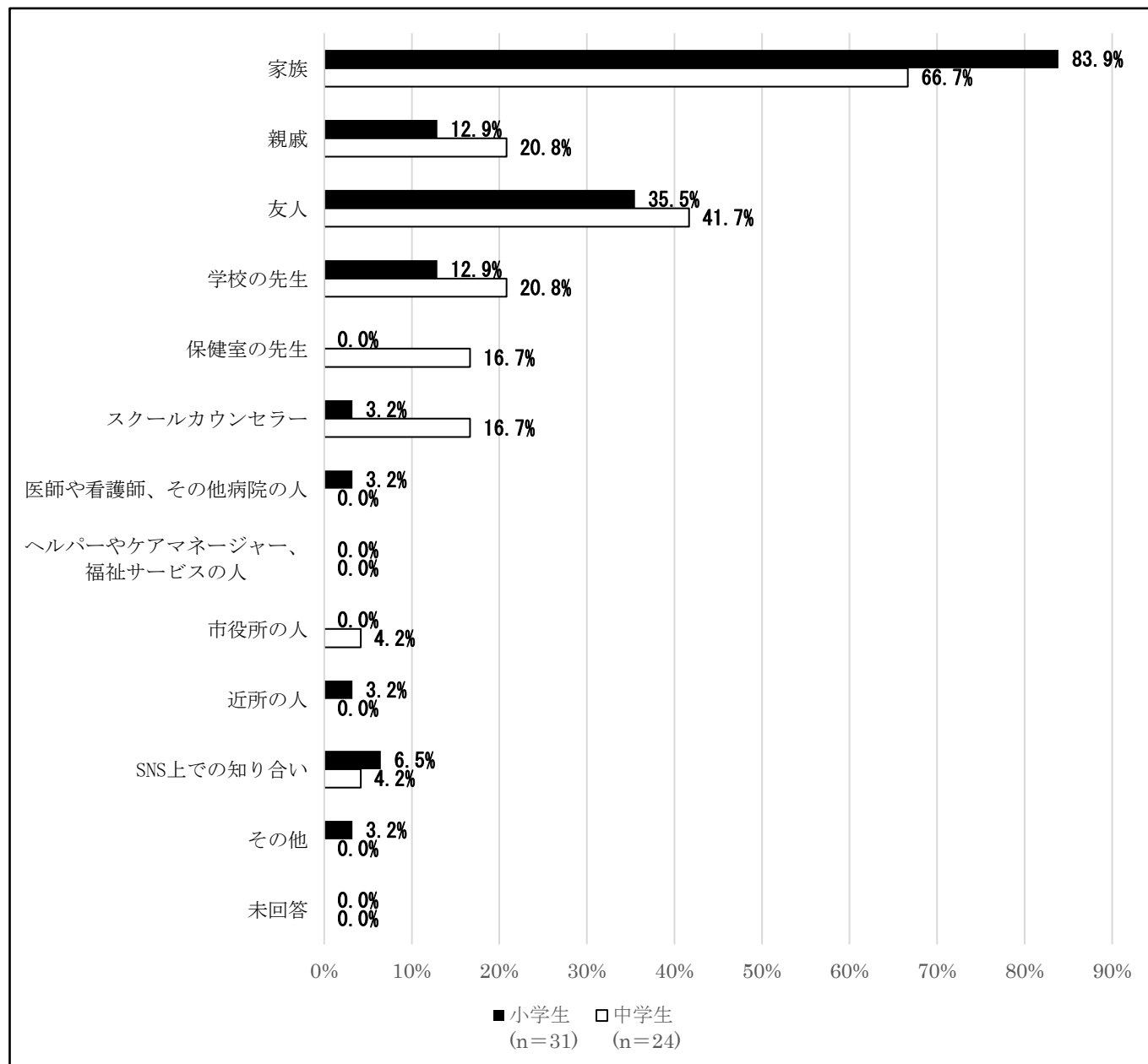
お世話を必要としている家族のことやお世話の悩みについては、「相談したことがない」が小学生(72.6%)・中学生(64.6%)ともに「相談したことがある」を大きく上回っている。



⑭お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手

⑬で相談したことがあると回答した児童・生徒を対象に相談した相手について質問した。

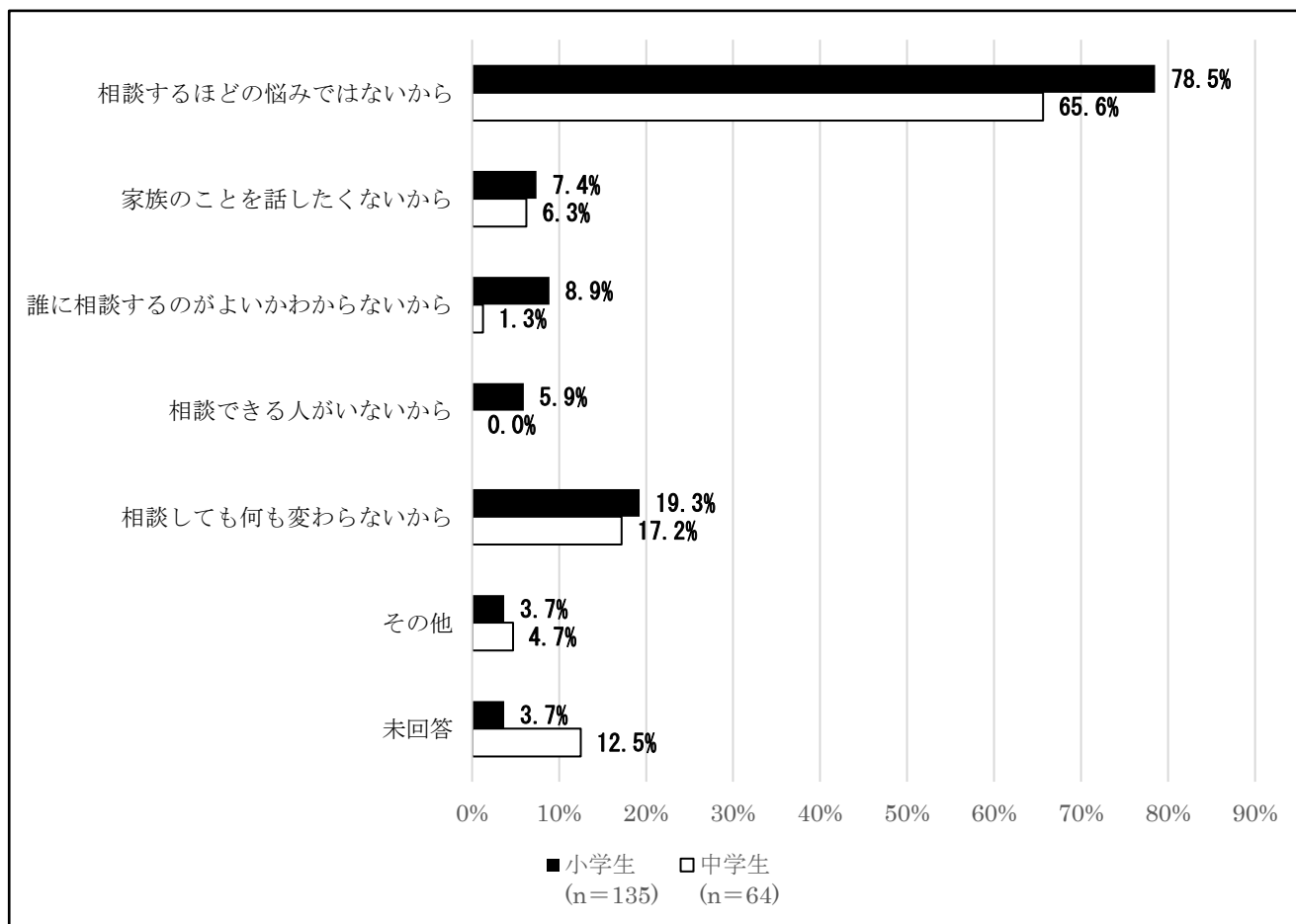
お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手については、小学生(83.9%)・中学生(66.7%)ともに「家族」が最も多く、続いて「友人」「学校の先生」「親戚」が多かった。



⑮相談していない理由

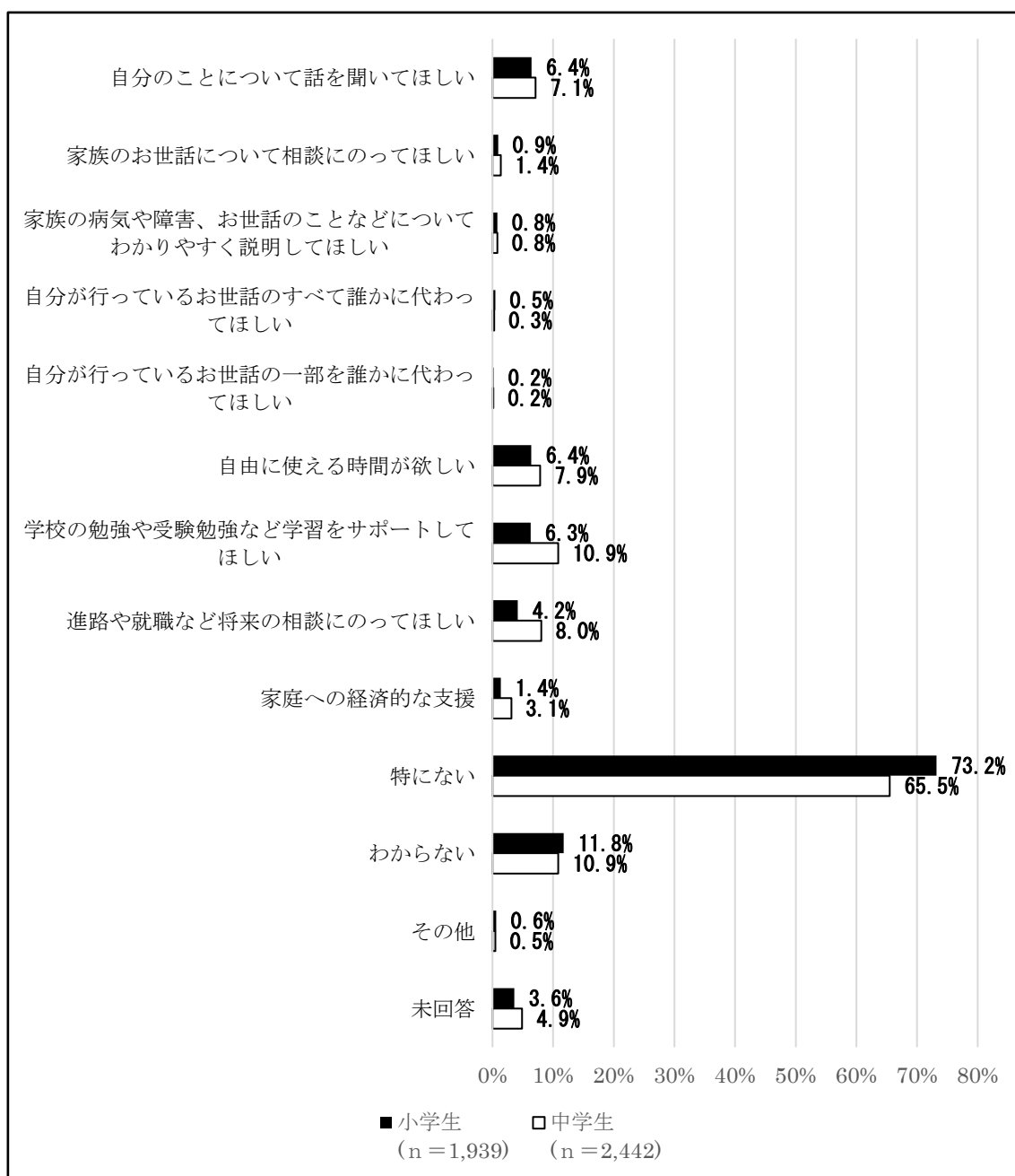
⑬で相談したことがないと回答した児童・生徒を対象に相談していない理由について質問した。

お世話の悩みやお世話を要する家族ことを相談していない理由については、小学生(78.5%)・中学生(65.6%)と「相談するほどの悩みではないから」が最も高い。



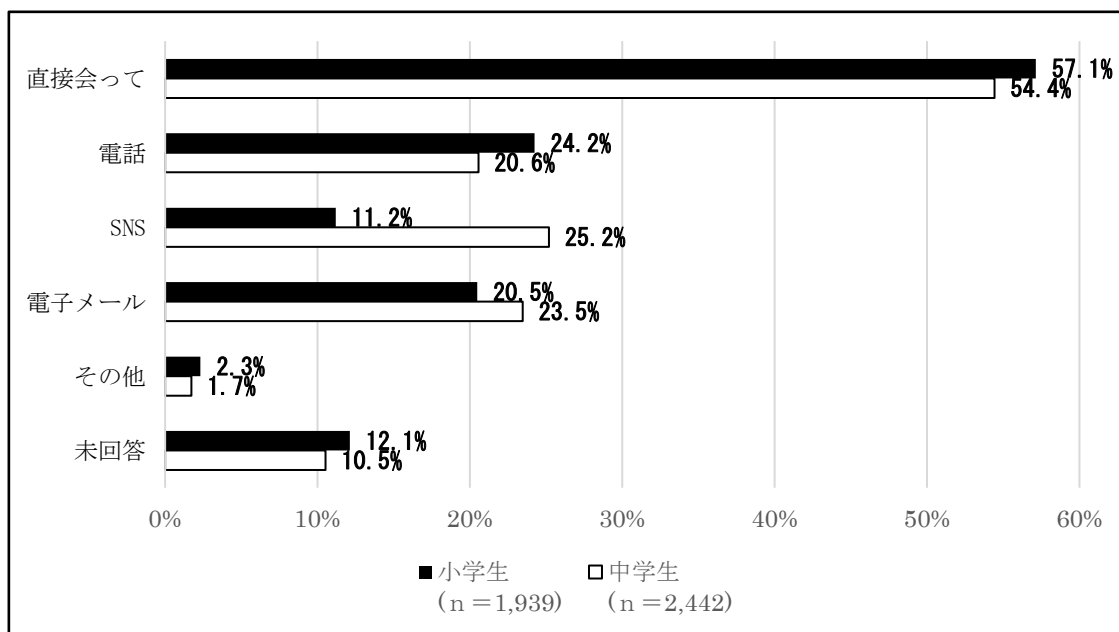
⑩学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はあるか

学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援について複数回答で聞いたところ、小学生・中学生ともに「特にない」の割合が最多となった。続いて小学生では、「わからない」(11.8%)「自由に使える時間が欲しい」(6.4%)「自分のことについて話を聞いてほしい」(6.4%)となっている。一方、中学生は「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」(10.9%)「進路や就職など将来の相談にのってほしい」(8.0%)「自由に使える時間が欲しい」(7.9%)となっている。



⑰話や相談をしたい方法

話や相談したい方法について複数回答で聞いたところ、「直接会って」が小学生(57.1%)・中学生(54.4%)ともに最も高い。

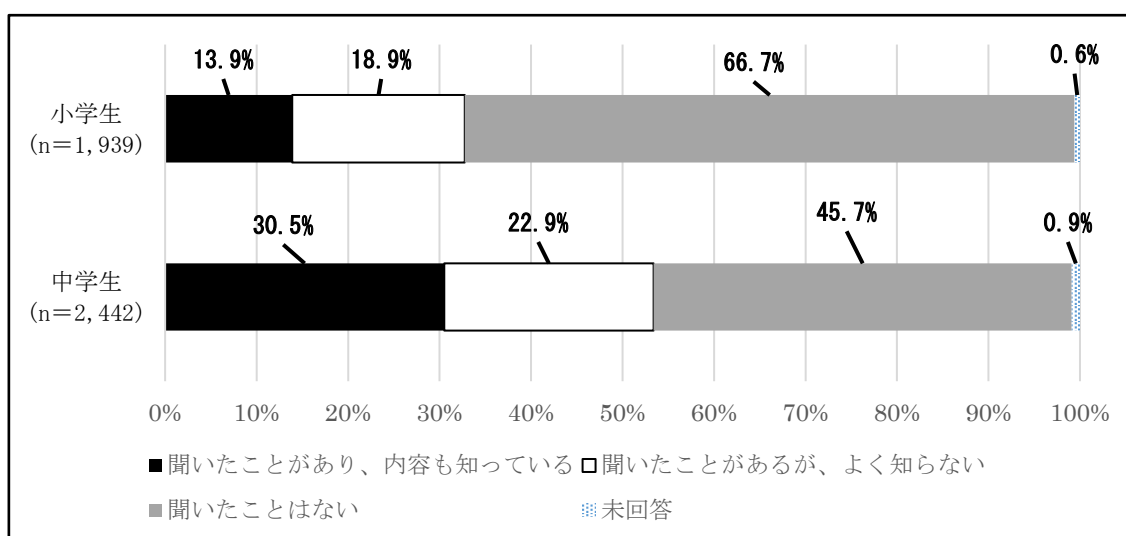


(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況

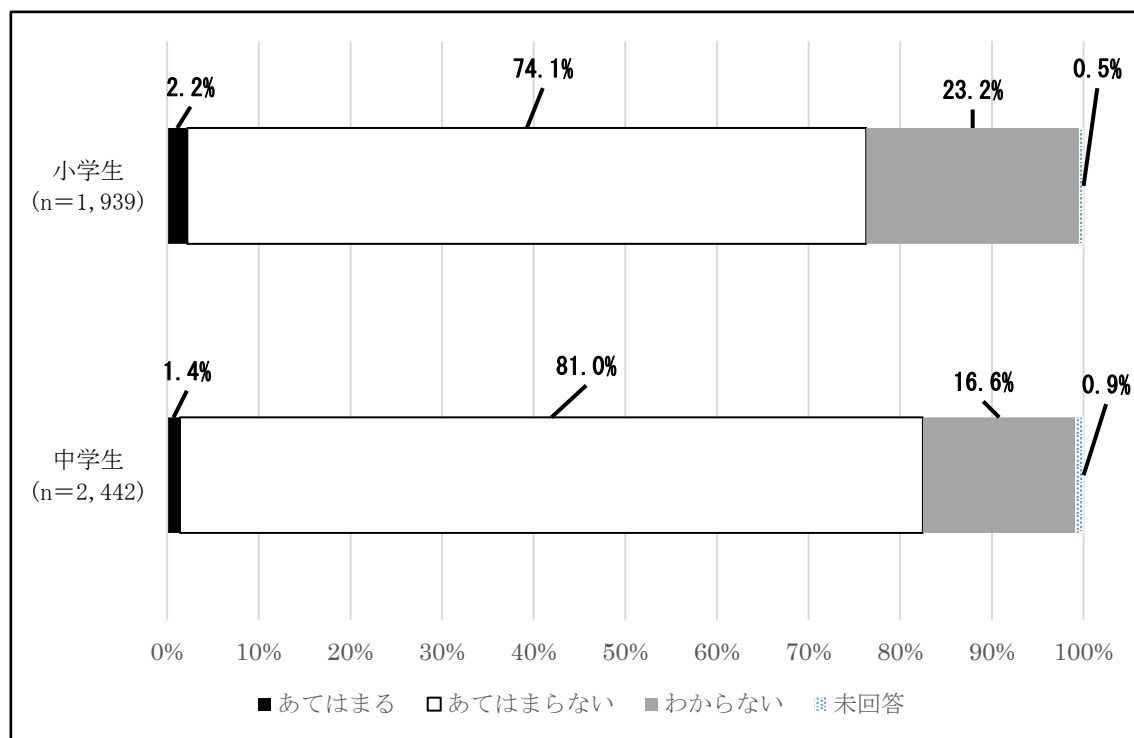
ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況については、「聞いたことない」が小学生(66.7%)・中学生(45.7%)と最多となった。

「聞いたことがあり、内容も知っている」は、小学生(13.9%)・中学生(30.5%)という結果であった。



②ヤングケアラーの自己認識

ヤングケアラーについての説明とイラストを提示したうえで、自分自身がヤングケアラーにあてはまるかを聞いたところ、「あてはまる」が小学生(2.2%)・中学生(1.4%)となった。「わからない」は、小学生(23.2%)・中学生(16.6%)となっている。



3. クロス集計結果

本調査では(1)家族のお世話の有無により回答に差異が生じているか分析するためにクロス集計を行った。

※表内で家族のお世話の有無によって回答に差が5ポイント以上生じている部分に網かけをしている。

(1) 家族のお世話の有無による差

① 家族のお世話の有無×健康状態

健康状態については、「あまりよくない」、「よくない」の項目を合計すると、小中学生ともにお世話があると回答した児童・生徒の割合が高かった。

	家族のお世話	n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	未回答
小学生	有	186	57.5%	21.5%	15.1%	5.4%	0.0%	0.5%
	無	1,741	54.0%	24.5%	17.7%	2.8%	0.5%	0.4%
中学生	有	99	47.5%	22.2%	24.2%	5.1%	1.0%	0.0%
	無	2,329	52.3%	23.8%	19.0%	4.0%	0.5%	0.4%

② 家族のお世話の有無×学校への通学状況(出欠)

学校への通学状況(出欠)については、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の項目を合計すると、小中学生ともにお世話があると回答した児童・生徒の割合が高かった。特に中学生ではお世話の有無によって17.2%(ある)と10.1%(ない)となり乖離幅が大きくなっている。

	家族のお世話	n	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	未回答
小学生	有	186	83.3%	15.1%	1.1%	0.5%
	無	1,741	85.1%	13.6%	1.2%	0.2%
中学生	有	99	82.8%	15.2%	2.0%	0.0%
	無	2,329	89.8%	8.8%	1.3%	0.1%

③家族のお世話の有無×学校への通学状況(遅刻や早退)

学校への通学状況(遅刻や早退の状況)については、小学生では「よくする」の項目で、また中学生では「たまにする」の項目でお世話があると回答した児童・生徒の割合が高かった。一方、小学生ではお世話がない児童の方が「たまにする」の項目で回答割合が高く、中学生では「よくする」の項目で差は生じなかった。

	家族のお世話	n	ほとんどしない	たまにする	よくする	未回答
小学生	有	186	75.8%	1.6%	7.0%	0.5%
	無	1,741	82.5%	12.4%	4.3%	0.9%
中学生	有	99	77.8%	19.2%	2.0%	1.0%
	無	2,329	86.1%	11.4%	2.0%	0.4%

④家族のお世話の有無×部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況

部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況については、お世話の有無による大きな差異は認められなかった。

	家族のお世話	n	はい	いいえ	未回答
小学生	有	186	78.0%	22.0%	0.7%
	無	1,741	80.9%	18.4%	
中学生	有	99	92.9%	7.1%	0.4%
	無	2,329	92.4%	9.6%	

⑤家族のお世話の有無×普段の生活ではまること

普段の生活状況については、お世話がある生徒の方が、小中学生ともに「持ち物の忘れものが多い」と回答する割合が最も高かった。そのほか、小学生では、「授業中に寝てしまうことが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」の項目で高く、中学生では「宿題や課題ができていないことが多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」の項目で高い回答割合となった。「特にない」と回答した割合が低くなっていることを見ても、特に中学生では家族のお世話があることに起因して、学校生活等で何らかの課題が表面化している状況がうかがえる。

	家族のお世話	n	授業中に寝てしまうことが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れものが多い	学校では1人で過ごすことが多い	保健室で過ごすことが多い	部活動やクラブ活動を休むことが多い	塾や習い事を休むことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	提出物を出すのが遅れることが多い	特にない	その他
小学生	有	186	8.1%	22.6%	31.7%	7.5%	2.2%		1.1%	7.0%	25.3%	48.4%	1.1%
	無	1,741	3.6%	19.9%	24.6%	7.5%	0.8%		2.3%	6.7%	23.3%	56.7%	0.9%
中学生	有	99	13.1%	32.3%	32.3%	11.1%	3.0%	9.1%	3.0%	9.1%	36.4%	11.1%	1.0%
	無	2,329	17.4%	26.1%	24.9%	8.2%	0.6%	8.1%	1.7%	6.2%	30.7%	19.4%	0.5%

⑥家族のお世話の有無×現在、悩んだり、困っていること

悩んだり、困ったりしていることについては、お世話がある児童・生徒の方が小中学生ともに「自分のために使える時間が少ない」と回答した割合が高かった。そのほか、小学生では、「自分と家族との関係のこと」、「学業や成績のこと」、「塾や習い事のこと」の項目で、また、中学生では「学費などを含む、家庭の経済的状況のこと」、「学業や成績のこと」、「病気や障害のある家族のこと」の項目で高い回答割合となった。全般的に、悩んでいる・困っている項目は、お世話がある児童・生徒で高い傾向となっている。

	家族のお世話	n	友人との関係のこと	学業や成績のこと	進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	塾や習い事のこと	自分と家族との関係のこと	自分以外の家族内の関係のこと	病気や障害のある家族のこと	学費(授業料)などを含む、家庭の経済的状況のこと	修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない	自分のために使える時間が少ない	特にない	その他
小学生	有	186	15.6%	21.0%	11.3%		14.5%	12.9%	5.4%	1.1%	3.8%	0.5%	8.1%	53.2%	3.2%
	無	1,741	16.2%	16.5%	11.8%		10.5%	6.4%	2.9%	1.2%	2.1%	0.4%	4.1%	61.3%	2.1%
中学生	有	99	20.2%	43.4%	35.4%	16.2%	9.1%	11.1%	5.1%	7.1%	12.1%	2.0%	11.1%	30.3%	0.0%
	無	2,329	15.3%	35.6%	31.0%	13.5%	7.7%	11.3%	2.9%	1.1%	4.3%	0.3%	4.5%	43.8%	1.6%

⑦家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援

学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援については、お世話がある児童の方が「特にない」と回答した割合が低く、何らかの支援を求めていることがうかがえる。中でも特に、小中学生ともに「自分のことについて話を聞いてほしい」の項目が、また中学生では、加えて「家族のお世話について相談にのってほしい」、「家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」という項目で高い回答割合となった。

	家族のお世話	n	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	家庭への経済的支援をしてほしい	特にない	わからない	その他	未回答
小学生	有	186	12.9%	2.7%	2.2%	1.6%	0.0%	8.1%	3.2%	5.9%	2.2%	67.2%	11.3%	0.5%	4.8%
	無	1,741	5.8%	0.7%	0.7%	0.3%	0.0%	6.2%	2.6%	4.0%	1.3%	73.9%	11.9%	0.6%	5.6%
中学生	有	99	16.2%	6.1%	4.0%	1.0%	0.0%	12.1%	14.1%	7.1%	4.0%	52.5%	12.1%	0.0%	17.2%
	無	2,329	6.6%	1.2%	0.7%	0.3%	0.0%	7.7%	10.7%	8.1%	3.0%	66.3%	10.8%	0.5%	6.7%

⑧家族のお世話の有無×相談方法

相談方法については、小中学生ともに「直接会って」、「電話」の項目が家族のお世話の有無にかかわらず回答する割合が高かった。中学生は次いで「SNS」や「電子メール」の項目の割合も高かったが、こちらは家族のお世話のない生徒の回答割合が高くなっている。

	家族のお世話	n	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	未回答
小学生	有	186	61.3%	23.7%	7.0%	13.4%	3.8%	10.8%
	無	1,741	56.9%	24.4%	11.7%	21.3%	2.2%	11.9%
中学生	有	99	51.5%	21.2%	19.2%	18.2%	5.1%	14.1%
	無	2,329	54.7%	20.6%	25.5%	23.7%	1.6%	10.1%

⑨家族のお世話の有無×ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、家族のお世話の有無にかかわらず「聞いたことがない」と回答した割合が最も高かった。また、小中学生ともに家族のお世話がある児童・生徒の方が「聞いたことがない」と回答した割合が高かった。逆に「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した割合は低かった。

	家族のお世話	n	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことがない	未回答
小学生	有	186	6.5%	15.6%	75.8%	2.2%
	無	1,741	14.8%	19.1%	65.7%	0.4%
中学生	有	99	16.2%	22.2%	57.6%	4.0%
	無	2,329	31.2%	23.0%	45.3%	0.6%

⑩家族のお世話の有無×ヤングケアラーの自己認識

児童・生徒のヤングケアラーの自己認識については、小中学生ともに家族のお世話の有無にかかわらず「あてはまらない」とする回答した割合が最も高かった。一方、家族のお世話がある児童・生徒は「あてはまる」と回答している割合が高かったほか、「わからない」とする回答割合も高かった。

	家族のお世話	n	あてはまる	あてはまらない	わからない	未回答
小学生	有	186	7.5%	48.9%	39.8%	3.8%
	無	1,741	1.6%	76.9%	21.4%	0.2%
中学生	有	99	11.1%	50.5%	33.3%	5.1%
	無	2,329	1.0%	82.4%	16.0%	0.6%

4. 自由記述

(1) カテゴリー分類について

「ヤングケアラー支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想」について自由意見を求め、それらの回答のカテゴリー分類を行った。

表1 自由記述回答の全体分類(小学生)【n=2,015】

※ 記述内容が複数のカテゴリーにわたる場合はそれぞれに計上。

No.	カテゴリー分類	n	内容・キーワード
1	周知・啓発	251	ポスター、CM、手紙、チラシ、みんなに知ってもらう
2	定期的なアンケートの実施	101	アンケート実施、アンケートを続けてほしい
3	相談場所・話せる場所の確保	57	気軽に相談できる場所、環境づくり
4	授業で取り入れる	25	道徳や総合の授業の時間に取り入れる
5	講演会を開く	6	講演会を開く
6	経済的援助・募金活動	79	募金、金銭的援助、国からの支援、補助制度の利用
7	ボランティアの募集	27	ボランティアを雇う、募集する
8	ヤングケアラーについて知ることができた	140	初めてヤングケアラーについて知ることが出来た、学ぶことが出来た
9	アンケートを通して心がすっきりした	20	すっきりした、安心した、心が落ち着いた
10	わからない	104	わからない、知らない
11	識別不可能な回答	4	識別不可能な回答
12	特になし	564	特になし
13	その他・感想	637	アンケートに対する感想・意見等

表 2 自由記述回答の全体分類(中学生) 【n =2, 068】

※ 記述内容が複数のカテゴリーにわたる場合はそれぞれに計上。

No.	カテゴリー分類	n	内容・キーワード
1	周知・啓発	497	ポスター、CM、手紙、チラシ、みんなに知ってもらう
2	定期的なアンケートの実施	119	アンケート実施、アンケートを続けてほしい
3	相談場所・話せる場所の確保	103	気軽に相談できる場所、環境づくり
4	授業で取り入れる	74	道徳や総合の授業の時間に取り入れる
5	講演会を開く	42	講演会を開く
6	経済的援助・募金活動	126	募金、金銭的援助、国からの支援、補助制度の利用
7	ボランティアの募集	21	ボランティアを雇う、募集する
8	ヤングケアラーについて知ることができた	132	初めてヤングケアラーについて知ることが出来た、学ぶことが出来た
9	アンケートを通して心がすっきりした	11	すっきりした、安心した、心が落ち着いた
10	わからない	58	わからない、知らない
11	識別不可能な回答	6	識別不可能な回答
12	特になし	108	特になし
13	その他・感想	771	アンケートに関する感想・意見等

(2) 自由記述意見のカテゴリー別回答内容

児童・生徒から自由回答部分に記入された意見等について、原則原文を掲載している。(ただし、回答内の固有名詞や個人的な事等については、削除している。複数カテゴリーの内容を含む回答から、各カテゴリーに対応する部分に対応する部分のみ抜粋して掲載している回答がある。)

※「わからない」「識別不可能な回答」「特になし」は除く。

①周知・啓発

【小学生】

もっとヤングケアラーという言葉の意味を理解する人が増えてほしいと思った。理解する人が増えるだけでヤングケアラーの人が少しでも負担が少なくなしてほしいと思ったし自分ももっとヤングケアラーのことについて知り、理解を深めたいと思った。

インターネットでヤングケアラーについて説明・紹介したり広告やサイトを作る。学校でヤングケアラーとはなにか教える。

学校の図工の授業でヤングケアラーのポスターを作って市で最優秀賞や優秀賞など作って表彰して意欲を高めるなどがいいと思います。

テレビやSNS でヤングケアラーについて発信していく。

【中学生】

ヤングケアラーなどについてイラストなどで完結的にわかりやすく伝えられるポスターなどを作成し、人目のつきやすい場所や、ヤングケアラーを広めたい対象が多くいる場所にポスター配置することが必要だと思う。

今の時代はスマホを使うことがほとんどなので SNS やスマホの広告などで広めることが一番効率よく周知できると思う。

ポスターやチラシ、CM などを通してヤングケアラーについて周知していく。

支援を広げていくためにはチラシやテレビやCM で宣伝 youtube や TikTok やインスタや今の大人や若者を中心とした現在よく使われているアプリで宣伝してヤングケアラーについて周知していく。

②定期的なアンケートの実施

【小学生】

このようなアンケートを増やしていくことが必要だと思う。自分の気持ちで答えることができるので、もし自分が「ヤングケアラー」だったらアンケートをして気持ちが楽になる。

このようなアンケートを増やして支援は必要な人たちが話しやすい環境を作る。アンケートがあると支援が必要な人たちも伝えやすいと思う。

定期的にアンケートを行い、それぞれの形に寄り添ってサポートする。

アンケートに答えるまではヤングケアラーの存在について知らなかったが、今回のアンケートで知ることが出来た。アンケートによってヤングケアラー支援を受けるだけでなく、周りから理解もされると思ったので、このアンケートを続けてほしい。

【中学生】

定期的なアンケートを実施することで自身の悩みを発信することができると思う。定期的なアンケートを取ったりして自分の現状を知り、しっかりと向き合うことが出来て、支援の改善の一步だと思う。

ヤングケアラーは自分で気づいていなかったり、周りが気づいていなかったりする場合も多いと思うので、定期的なアンケートや相談する機会を設けるとよいと思います。また、もし自分がヤングケアラーになった時に気軽に相談できる場所があると救われると思います。

定期的に簡単なアンケートを実施して、色々な意見を取り入れる。

このようなアンケートを定期的に実施し、ヤングケアラーについて知ってもらう。

③相談場所・話せる場所の確保

【小学生】

ヤングケアラー本人が気軽に相談できる(電話・メール・直接会って)相談センターを作ったり、身近な人でヤングケアラーがいたら相談に乗ってあげるように市町村へ呼び掛けたりすることがいいと思います。

悩んでいる人が話せる場所を作るべきだと思う。

定期的に学校やポストに相談についてのチラシを配ることや、近くに相談できる場所を作る(カウンセリング)を徹底していく。

不安なことや心配な事があつたらすぐに相談できる環境を増やしたり、こんなところで相談できるよ、といったように広めて知ってもらう。

【中学生】

いつでもどんな時でも相談できるアプリや機関があればいいと思う。

学校などにヤングケアラーについて相談できる施設を設置する。

気軽に相談したりできる、心を許せる場所を増やすため、SNSの面でもより良いサイトを増やせばいいと思う。直接相談するのは、緊張したりする人も多いと思うから、メールや電話などの支援の仕方を広めていくことといいのかなと思います。また、直接会うような時の流れなどもなるべく簡単にして、より気軽に相談できるようにするといいのかなと思います。

中々言い出せない悩みだと思うので、匿名で相談できる場所(ネット)を設けたり、学校で先生やカウンセラーの方と話す時間を全員で作ったりと、ヤングケアラーなどの言い出せない悩みも出しやすくなり、相談できると思います。

④授業で取り入れる

【小学生】

ヤングケアラーのアニメーションを作って、学校の授業の時間を使い、動画を流すなどして、学校の授業でヤングケアラーについて周知していく。

ヤングケアラーの授業などを学校でやってなるべく多くの人に知ってもらうことが必要だと思う。

地域で説明会や学校の授業等で知ってもらうことが大切だと思う。

ヤングケアラーの資料などを学校の授業などで配布する。

【中学生】

ヤングケアラーの講座などを授業で取り入れることが必要だと思う。

小中学校でヤングケアラーについて学習を深めたり、実際に講師をお招きして子供たちがヤングケアラーについて理解することができるような授業を行うべきだと思う。

ヤングケアラーに関する特別授業を全国の小中学校で実施する。

学校の総合や道徳の授業でヤングケアラーについて取り扱う。

⑤講演会を開く

【小学生】

講演会の機会を作り、ヤングケアラーについての理解を深める。

講演会を開いて、ヤングケアラーについて周知する。

【中学生】

私は実際に講演会を聞くまでヤングケアラーについて、知らなかったですが講演会で知ることが出来たので、これからも講演会を開き、理解を深める。

授業で講演会を取り入れて、悩みや相談を話せる場所を作ったりすることができる環境を作る。

⑥経済的援助・募金等

【小学生】

支援をするにあたってお金と人材が必要だと思うので、募金活動などを行う。

国からの補助金や奨学金などの活用。

【中学生】

国などからの経済的援助。

ヤングケアラー世帯の生活費や学費などを金銭的な援助。

⑦ボランティアの募集

【小学生】

ボランティアの募集を増やして、話を聞いてあげたりする。

【中学生】

ヤングケアラーを支援するボランティアや企業を作る。ボランティアを募集して人材の確保。

⑧ヤングケアラーについて知ることが出来た

【小学生】

ヤングケアラーについて知らなかったが、このアンケートを通してヤングケアラーについて初めて知ることができた。

【中学生】

このアンケートでヤングケアラーについて改めて詳しく知ることができた。

⑨アンケートを通して心がすっきりした

【小学生】

言いたいことを正直にこのアンケートで書くことが出来て、心がすっきりした。

【中学生】

立川市からこのようなアンケートがきて回答すると心がすごく楽になるのでよかった。

⑩その他・感想

【小学生】

気づいた人が声をかけたり、ヤングケアラーの人が自ら助けを求められるような環境を作ることが大切。

このアンケートをとって何になるのかわからない。

積極的に相談にのることが大切だと思う。

【中学生】

ヤングケアラーの人が相談しやすい、環境を作ることと、支えていくうえで無理に聞きすぎないで、本人から話してくるのを待つことが大切だと思う。

本人がヤングケアラーという自覚がない場合が、大変だと思う。

自分は関係ないと思っていたが、親族の友達にヤングケアラーに該当しそうな人がいたということに気づくことが出来ました。身近にもヤングケアラーがいるということに気づくことが出来て良かったです。

第 3 章

分析

1. 実態把握分析

【家族のお世話をしている児童・生徒の状況】

家族のお世話をしていると回答している児童・生徒は、小学生 186 人(9.6%)、中学生 99 人(4.1%)だった。小中学生を合わせると 285 人(6.5%)となり、全国調査である令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」による中学2年生 5.7%と比較しても大差なく、本市においても支援の必要な児童・生徒がいると考えられる。

一方で、調査票・回答フォームの中で「お世話＝大人がするような家事である」との説明や東京都が提示しているヤングケアラーに関するイラストを入れたが、特に小学生については、比較的小さいお手伝いも含めてお世話をしていると回答している児童・生徒が一定数いることが想定され、割合が高くなっている可能性があるものと考えている。集計結果から小学生のお世話をしている相手・内容の項目でも「若い兄弟の世話」と回答している児童・生徒の割合が高くなっていることから、その可能性がうかがえ、支援の介入については更なる精査が必要と考える。

2. 自己認識と認知度分析

【ヤングケアラーの自己認識と認知度】

ヤングケアラーという言葉や概念については、全般的に認知されておらず、周知についての課題が生じている。また、小中学生ともに家族のお世話がある場合の認知割合が低く、お世話の有無によって知識量に差が生じている可能性が考えられる。

ヤングケアラーの自己認識については、家族のお世話がある児童・生徒は「あてはまる」と回答している割合が高かったほか、「わからない」とする回答割合も高かった。「明確にあてはまらないとまではいえないけれど…」というところで迷っている可能性がある。自由記述でも、ヤングケアラーについて初めて知ることができたと回答している児童・生徒が多かったことから、今後も継続的にアンケートを実施するなどして、ヤングケアラーについて普及啓発していく必要がある。

3. お世話の影響分析

【家族のお世話をすることによる影響】

家族のお世話がある場合、小中学生ともに「自由に使える時間が少ない」と回答する割合が高く、「学業や成績のこと」などの困りごとを訴えている。小学生での困りごとと中学生での困りごとでは内容に差異が見られ、発達に応じて求められる役割が変化することがうかがえる。特にお世話をしていることで、学校生活等で課題が表面化することがあり、宿題や課題への取組状況や忘れ物、提出物等の提出状況などで、その兆候を捉えることができるものと考えられる。教員や市職員を含めた直接、児童・生徒に接する大人の感度を高める必要がある。

4. 支援ニーズ分析

【相談状況と支援ニーズ】

家族のお世話をしていると回答した児童・生徒の悩みの相談については、「相談したことがない」と回答した割合が高くなった。相談していない理由については、「相談するほどの悩みではないから」という回答が小学生 78.5%、中学生 65.6%と高かった。「相談したことがある」と回答した児童・生徒に相談相手についてたずねたところ、「家族」が最も多く、その他「友人」、「学校の先生」、「親戚」が多かった。

また、お世話している児童・生徒に対して必要とする支援についてたずねたところ「自分のことについて聞いてほしい」と回答する割合が最も高くなった。このことから、お世話をしている児童・生徒に対して信頼できる身近な大人が本人の話聞くことができる機会を設けることが重要であることがわかる。また、その後、本人の承諾を得つつ適切な支援機関につなげていくことができる体制や運用も重要である。

なお、相談方法としては少々意外ではあったが、「直接会って」、「電話」と回答する割合が高く、中学生では日常生活でスマートフォンを利用する頻度が高くなることが影響しているのか「SNSでの相談」や「電子メール」という回答の割合も高くなっているが、これはお世話がない生徒の回答割合の方が高かった。お世話がある児童・生徒は自由になる時間が少ないため、自身が抱える悩みは、一度に交換できる情報量が多く、双方向で即時性が確保される対面や電話での相談を望んでいる可能性があるのかもしれない。

第 4 章

質問項目

1.小学生向け質問項目

立川市子どもの生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）

（小学5・6年生用）

【アンケートに答える皆さまへ】

- これは立川市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。
- みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。
- このアンケートはあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。
- 答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とばして次の質問に進んでください。
- 自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- 答えを選ぶ時、○はあてはまるもの1つを選択、□はあてはまるものすべてを選択してください。その他は自由に具体的な内容を入力してください。人数や年数など数字を入力する答えもあります。
- このアンケートで個人を調査したり、家族に連絡がいくことはありません。
- このアンケートは、一時保存ができません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りでお願いいたします。
- アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

① あなたのことについて教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 答えたくない

問2 あなたの学校を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| ☐ 第一小学校 | ☐ 第八小学校 | ☐ 大山小学校 |
| ☐ 第二小学校 | ☐ 第九小学校 | ☐ 柏小学校 |
| ☐ 第三小学校 | ☐ 第十小学校 | ☐ 上砂川小学校 |
| ☐ 第四小学校 | ☐ 西砂小学校 | ☐ 新生小学校 |
| ☐ 第五小学校 | ☐ 南砂小学校 | ☐ 若葉台小学校 |
| ☐ 第六小学校 | ☐ 幸小学校 | |
| ☐ 第七小学校 | ☐ 松中小学校 | |

問3 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 小学5年生 ☐ 小学6年生

問4 あなたのクラスを教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- | | | |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ☐ 1組 | ☐ あおぞら | ☐ ひまわり |
| ☐ 2組 | ☐ こだま | ☐ たんぽぽ |
| ☐ 3組 | ☐ くわのみ | ☐ さくら |
| ☐ 4組 | ☐ すずかけ | ☐ にじいろ |
| ☐ 5組 | ☐ まつのみ | |

問5 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください、（ ）内は人数を入力してください）

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| ☐ お父さん | ☐ お母さん | ☐ 兄（ ）人 |
| ☐ 姉（ ）人 | ☐ 弟（ ）人 | ☐ 妹（ ）人 |
| ☐ おじいちゃん（ ）人 | ☐ おばあちゃん（ ）人 | ☐ 親戚（ ）人 |
| ☐ その他（ ）人 | | |

問6 あなたの健康状態について教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- | | | |
|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| ☐ よい | ☐ ふつう | ☐ よくない |
| ☐ まあよい | ☐ あまりよくない | |

② 普段の生活について教えてください。

問7 学校への出席状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ ほとんど出席している
- ☐ たまに欠席する(月に1、2回程度)
- ☐ よく欠席する(週に2、3回以上)

問8 学校への遅刻や早退の状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ ほとんどしない
- ☐ たまにする(月に1、2回程度)
- ☐ よくする(週に2、3回以上)

問9 塾や習い事などをしていませんか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ はい
- ☐ いいえ

問10 ふだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 授業中に寝てしまうことが多い
- ☐ 宿題や課題が出来ていないことが多い
- ☐ 持ち物の忘れ物が多い
- ☐ 学校では1人で過ごすことが多い
- ☐ 保健室で過ごすことが多い
- ☐ 塾や習い事を休むことが多い
- ☐ 友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない
- ☐ 提出物を出すのが遅れてしまうことが多い
- ☐ 特にない
- ☐ その他

問11 現在、悩んだり困っていることはありますか

(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 友人との関係のこと
- ☐ 学業や成績のこと
- ☐ 進路のこと
- ☐ 自分と家族との関係のこと
- ☐ 塾や習い事のこと
- ☐ 病気や障害のある家族のこと
- ☐ 自分以外の家族内の関係のこと
- ☐ 特にない
- ☐ 学費(授業料)などを含む、家庭内の経済的状況のこと
- ☐ 修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない
- ☐ 自分のために使える時間が少ない
- ☐ 特にない
- ☐ その他()

③ 家族や家庭のことについて教えてください。

問12 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

（ここでいう「お世話」とはふつう大人が行うような家事や家族の世話などをする事です。）（あてはまるもの1つを選択してください）

☐ いる

☐ いない ⇒ 問21へ

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話をすることです。あなたがお世話をしている相手について、教えてください。2人以上いる場合は、それぞれにお答えください。

（3人分入力できます。大変だと思う人を入力してください。）

問12-1 あなたがお世話をしている人数は何人ですか。

_____人

問12-2 あなたがお世話をしている相手の関係性を教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

☐ お父さん

☐ お母さん

☐ 兄

☐ 姉

☐ 弟

☐ 妹

☐ おじいちゃん

☐ おばあちゃん

☐ 親戚

☐ その他

問12-3 あなたが世話をしている相手の状況について、教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください）

☐ 高齢（65歳以上）

☐ 介護が必要

☐ 認知症

☐ 病気

☐ 身体障害

☐ 知的障害

☐ 精神障害

☐ 発達障害

☐ 依存症（アルコール・ギャンブル）

☐ 若い（小さい）

☐ 日本語が苦手

☐ わからない

☐ その他（ ）

問12-4 あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- ☐ 家事（☐食事の準備、☐掃除、☐洗濯、☐その他（ ））
- ☐ 身体的な介護（☐入浴の介助、☐トイレの介助、☐オムツ交換などのお世話、
 ☐衣服の脱ぎ着などのお世話、☐移動介助、☐その他）
- ☐ 通院のつきそい
- ☐ 薬の管理（薬を飲んだか確かめるなど）
- ☐ 一人で外出が難しい家族のつきそい
- ☐ 心配で目が離せない家族の見守りや声かけ
- ☐ 感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）
- ☐ 家庭のお金の管理（請求書の支払い、銀行等でのお金の出し入れ）
- ☐ きょうだいの世話など
- ☐ 通訳（日本語や手話など、書類などの代筆）
- ☐ その他（ ）

問13 あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ いる
- ☐ いない

問13-1 （「いる」と回答した方へ質問）あなた以外に家族のお世話をしている人は誰ですか（あてはまるものすべてを選択してください）

- ☐ お父さん ☐ お母さん ☐ 兄
- ☐ 姉 ☐ 弟 ☐ 妹
- ☐ おじいちゃん ☐ おばあちゃん ☐ 親戚
- ☐ 福祉サービスの人（ヘルパーなど） ☐ その他（ ）

問14 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めたあなたの年齢を教えてください。※だいたいの年齢でかまいません。

（ ）歳から

問15 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ ほぼ毎日 ☐ 週に1～2日 ☐ その他（ ）
- ☐ 週に3～5日 ☐ 1か月に数日

問16 あなたは平日に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（ ）時間くらい

問17 あなたは平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（ ）時間くらい

問18 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ☐ 学校を休んでしまう | ☐ 遅刻や早退をしてしまう |
| ☐ 宿題など勉強をする時間がない | ☐ 眠る時間が足りない |
| ☐ 友だちと遊ぶことができない | ☐ 自分の時間が取れない |
| ☐ 塾や習い事ができない | ☐ その他（ ） |
| ☐ 将来や進路のことが考えられない、もしくは自分の希望が伝えられない | |
| ☐ 特にない | |

問19 あなたは家族のお世話をすることに大変さを感じていますか。

（あてはまるものとすべてを選択してください）

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 身体的に大変 | ☐ 精神的に大変 |
| ☐ 時間的に余裕がない | ☐ 特に大変さは感じていない |

問20 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 相談したことがある
☐ 相談したことがない

問20-1 （「相談したことがある」と答えた方へ質問）相談した人は誰ですか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ☐ 家族 | ☐ 親戚 |
| ☐ 友人 | ☐ 学校の先生 |
| ☐ 保健室の先生 | ☐ スクールカウンセラー |
| ☐ 医師や看護師、その他病院の人 | ☐ 近所の人 |
| ☐ ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人 | |
| ☐ 市役所の人 | ☐ SNS上での知り合い |
| ☐ その他（ ） | |

- ☐ 相談するほどの悩みではないから
- ☐ 家族のことを話したくないから
- ☐ 誰に相談するのがよいかわからないから
- ☐ 相談できる人がいないから
- ☐ その他（ ）

- ☐ 自分のことについて話を聞いてほしい
- ☐ 家族のお世話について相談にのってほしい
- ☐ 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- ☐ 自分が行なっているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
- ☐ 自分が行なっているお世話の一部を誰かに代わってほしい
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか（ ）
- ☐ 自由に使える時間がほしい
- ☐ 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
- ☐ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- ☐ 家庭への経済的な支援をしてほしい
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ その他（ ）

☐ 直接会って
☐ 電話
☐ SNS
☐ 電子メール
☐ その他（ ）

④ ヤングケアラーについて教えてください。

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っているとされる子ども・若者」のことをいいます。



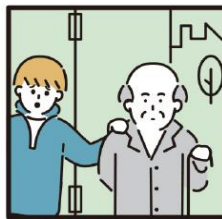
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問23 ヤングケアラーという言葉をごまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ 聞いたことがあり、内容も知っている
- ☐ 聞いたことはあるが、よく知らない
- ☐ 聞いたことはない

問24 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ あてはまる
- ☐ あてはまらない
- ☐ わからない

問25 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想をご入力ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

2.中学生向け質問項目

立川市子どもの生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）

（中学1・2・3年生用）

【アンケートに答える皆さまへ】

●これは立川市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。

●みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。

●このアンケートはあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。

●答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とばして次の質問に進んでください。

●自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。

●答えを選ぶ時、○はあてはまるもの1つを選択、□はあてはまるものすべてを選択してください。その他は自由に具体的な内容を入力してください。人数や年数など数字を入力する答えもあります。

●このアンケートで個人を調査したり、家族に連絡がいくことはありません。

●このアンケートは、一時保存ができません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りでお願いいたします。

●アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

① あなたのことについて教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 答えたくない

問2 あなたの学校を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 第一中学校 ☐ 第四中学校 ☐ 第七中学校
☐ 第二中学校 ☐ 第五中学校 ☐ 第八中学校
☐ 第三中学校 ☐ 第六中学校 ☐ 第九中学校

問3 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 中学1年生 ☐ 中学2年生 ☐ 中学3年生

問4 あなたのクラスを教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 1組またはA組 ☐ 4組またはD組 ☐ I（アイ）組
☐ 2組またはB組 ☐ 5組またはE組 ☐ 1（いち）組
☐ 3組またはC組 ☐ 6組またはF組 ☐ 10組

問5 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください、（ ）内は人数を入力してください）

- ☐ お父さん ☐ お母さん ☐ 兄（ ）人
☐ 姉（ ）人 ☐ 弟（ ）人 ☐ 妹（ ）人
☐ 祖父（ ）人 ☐ 祖母（ ）人 ☐ 親戚（ ）人
☐ その他（ ）人

問6 あなたの健康状態について教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ よい ☐ ふつう ☐ よくない
☐ まあよい ☐ あまりよくない

② 普段の生活について教えてください。

問7 学校への出席状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ ほとんど出席している
- ☐ たまに欠席する(月に1、2回程度)
- ☐ よく欠席する(週に2、3回以上)

問8 学校への遅刻や早退の状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ ほとんどしない
- ☐ たまにする(月に1、2回程度)
- ☐ よくする(週に2、3回以上)

問9 部活動やクラブ活動、塾習い事などに参加していますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ はい
- ☐ いいえ

問10 ふだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 授業中に寝てしまうことが多い
- ☐ 宿題や課題が出来ていないことが多い
- ☐ 持ち物の忘れ物が多い
- ☐ 学校では1人で過ごすことが多い
- ☐ 保健室で過ごすことが多い
- ☐ 部活動やクラブ活動、塾や習い事を休むことが多い
- ☐ 塾や習い事を休むことが多い
- ☐ 友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない
- ☐ 提出物を出すのが遅れてしまうことが多い
- ☐ 特にない
- ☐ その他

問11 現在、悩んだり困っていることはありますか

(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 友人との関係のこと
- ☐ 学業や成績のこと
- ☐ 進路のこと
- ☐ 部活動やクラブ活動のこと
- ☐ 塾や習い事のこと
- ☐ 自分と家族との関係のこと
- ☐ 自分以外の家族内の関係のこと
- ☐ 病気や障害のある家族のこと
- ☐ 学費(授業料)などを含む、家庭内の経済的状況のこと
- ☐ 修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない
- ☐ 自分のために使える時間が少ない
- ☐ 特にない
- ☐ その他()

③ 家族や家庭のことについて教えてください。

問12 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

（ここでいう「お世話」とはふつう大人が行うような家事や家族の世話などをする事です。）（あてはまるもの1つを選択してください）

☐ いる

☐ いない ⇒ 問21へ

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話をすることです。あなたがお世話をしている相手について、教えてください。2人以上いる場合は、それぞれにお答えください。

（3人分入力できます。大変だと思う人を入力してください。）

問12-1 あなたがお世話をしている人数は何人ですか。

_____人

問12-2 あなたがお世話をしている相手の関係性を教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

☐ お父さん

☐ お母さん

☐ 兄

☐ 姉

☐ 弟

☐ 妹

☐ 祖父

☐ 祖母

☐ 親戚

☐ その他()

問12-3 あなたが世話をしている相手の状況について、教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください）

☐ 高齢（65歳以上）

☐ 介護が必要

☐ 認知症

☐ 病気

☐ 身体障害

☐ 知的障害

☐ 精神障害

☐ 発達障害

☐ 依存症（アルコール・ギャンブル）

☐ 若い（小さい）

☐ 日本語が苦手

☐ わからない

☐ その他()

問12-4 あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- ☐ 家事（☐食事の準備、☐掃除、☐洗濯、☐その他（ ））
- ☐ 身体的な介護（☐入浴の介助、☐トイレの介助、☐オムツ交換などのお世話、
 ☐衣服の脱ぎ着などのお世話、☐移動介助、☐その他）
- ☐ 通院のつきそい
- ☐ 薬の管理（薬を飲んだか確かめるなど）
- ☐ 一人で外出が難しい家族のつきそい
- ☐ 心配で目が離せない家族の見守りや声かけ
- ☐ 感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）
- ☐ 家庭のお金の管理（請求書の支払い、銀行等でのお金の出し入れ）
- ☐ きょうだいの世話など
- ☐ 保育園への送り迎え
- ☐ 通訳（日本語や手話など、書類などの代筆）
- ☐ その他（ ）

問13 あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ いる
- ☐ いない

問13-1 （「いる」と回答した方へ質問）あなた以外に家族のお世話をしている人は誰ですか（あてはまるものすべてを選択してください）

- ☐ お父さん ☐ お母さん ☐ 兄
- ☐ 姉 ☐ 弟 ☐ 妹
- ☐ 祖父 ☐ 祖母 ☐ 親戚
- ☐ 福祉サービスの人（ヘルパーなど） ☐ その他（ ）

問14 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めたあなたの年齢を教えてください。※だいたいの年齢でかまいません。

（ ）歳から

問15 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ ほぼ毎日 ☐ 週に1～2日 ☐ その他（ ）
- ☐ 週に3～5日 ☐ 1か月に数日

問16 あなたは平日に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（ ）時間くらい

問17 あなたは平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（ ）時間くらい

問18 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|---|---|
| ☐ 学校を休んでしまう | ☐ 遅刻や早退をしてしまう |
| ☐ 宿題など勉強をする時間がない | ☐ 眠る時間が足りない |
| ☐ 友だちと遊ぶことができない | ☐ 部活動・クラブ活動ができない |
| ☐ 塾や習い事ができない | ☐ 自分の時間が取れない |
| ☐ 将来や進路のことが考えられない、もしくは自分の希望が伝えられない | |
| ☐ 特にない | ☐ その他（ ） |

問19 あなたは家族のお世話をすることに大変さを感じていますか。

（あてはまるものとすべてを選択してください）

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 身体的に大変 | ☐ 精神的に大変 |
| ☐ 時間的に余裕がない | ☐ 特に大変さは感じていない |

問20 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。（あてはまるもの1つを選択してください）

- ☐ 相談したことがある
- ☐ 相談したことがない

問20-1 （「相談したことがある」と答えた方へ質問）相談した人は誰ですか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ☐ 家族 | ☐ 親戚 |
| ☐ 友人 | ☐ 学校の先生 |
| ☐ 保健室の先生 | ☐ スクールカウンセラー |
| ☐ 医師や看護師、その他病院の人 | ☐ 近所の人 |
| ☐ ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人 | |
| ☐ 市役所の人 | ☐ SNS上での知り合い |
| ☐ その他（ ） | |

問20-2 （「相談したことがない」と答えた方へ質問）相談していない理由を教えてください。（あてはまるものすべてを選択してください）

- ☐ 相談するほどの悩みではないから
- ☐ 家族のことを話したくないから
- ☐ 誰に相談するのがよいかわからないから
- ☐ 相談できる人がいないから
- ☐ その他（ ）

問21 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか
(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 自分のことについて話を聞いてほしい
- ☐ 家族のお世話について相談にのってほしい
- ☐ 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- ☐ 自分が行なっているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
- ☐ 自分が行なっているお世話の一部を誰かに代わってほしい
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか（ ）
- ☐ 自由に使える時間がほしい
- ☐ 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
- ☐ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- ☐ 家庭への経済的な支援をしてほしい
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ その他（ ）

問22 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談にのってほしいですか。
(あてはまるものすべてを選択してください)

- ☐ 直接会って
☐ 電話
☐ SNS
☐ 電子メール
☐ その他（ ）

④ ヤングケアラーについて教えてください。

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると思われる子ども・若者」のことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



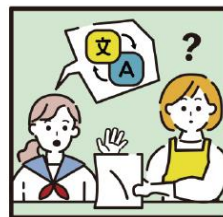
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問23 ヤングケアラーという言葉をごまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ 聞いたことがあり、内容も知っている
- ☐ 聞いたことはあるが、よく知らない
- ☐ 聞いたことはない

問24 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ☐ あてはまる
- ☐ あてはまらない
- ☐ わからない

問25 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想をご入力ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。